



2016 年度事業報告書 決算書

1 月通常総会資料

事業年度 自 2016 年 1 月 1 日
至 2016 年 12 月 31 日

1966年、地域を想い、地域の未来を拓く青年経済人が集い、長井青年会議所は発足しました。この想いは脈々と受け継がれ、創立50周年を迎えます。私たちは、創始の想いを礎に、移りゆく時代の中で若さあふれる発想を持って地域発展のための運動を展開してまいりました。明るい豊かな社会の実現のため、この想いはこれからも変わることはありません。

次なる50年の第一歩を踏み出すため、ここに、2015年から2019年までの運動指針を策定いたします。

〈2015 - 2019年度〉 公益社団法人 長井青年会議所 運動指針

幸せを実感できるまちづくり

【未来への責任】

これまでの50年、先人たちのたゆまぬ努力により大きな経済成長を遂げ、私たちの暮らしは豊かになりました。今を生きる私たちは、豊かな50年後を築くために、今できることを常に考え、責任ある行動をしていきます。

【幸せの姿】

家族や地域の姿が年々多様化する中、求められる幸せの姿は多様になっています。未来を担う子どもたちもさまざまな想いをもって育ち、教育の場では、その想いを尊重することが必要となります。これからの社会では、一人ひとりの想いから生まれた夢を叶えられるという、心の豊かさが幸せの姿となっていきます。

【心の豊かさ】

夢を叶えるには一人ひとりの成長が必要です。人は人で磨かれるというように、より多くの人と出会い、その人々の想いに触れることで心が豊かになり、成長することができます。また、人の想いを尊重し共感する心は、現実との触れ合いによって身につくものです。多様な想いが行き交う中、実体験を通じて心を豊かにしていくことが求められます。

【幸せの実感】

地方に住む私たちが豊かさを実感するためには、このまちの魅力を再認識していくことが必要です。長井西置賜ならではの特色ある地域資源を明確に再認識して、その魅力を発信し、住みたいと思われる魅力あるまちとなることで、ここに住み暮らす私たちが誇りを持ち、幸せを実感することができます。

【私たちの運動】

私たちは、心豊かで魅力あるまちを創造し、このまちに関わるすべての人々が幸せを実感できることをめざしていきます。そのために、私たちは地域社会を牽引する存在であり続けなければなりません。私たちだからこそできる運動を率先して展開し、幸せを実感できるまちを実現していきます。

2016年度スローガン

公益社団法人 長井青年会議所 2016年度 スローガン

個々の輝きを地域の光へ
Stay Gold!

公益社団法人 日本青年会議所 2016年度 スローガン

強く 優しく しなやかに
あらゆる価値の根源となれ!

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会
2016年度 スローガン

次世代へ夢と希望溢れる東北の実現

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
2016年度 スローガン

次世代へつなぐ夢と希望溢れるやまがたの実現



所 感

公益社団法人長井青年会議所
第51代理事長 井上 典嗣

数え切れないほどの学びと気づきを得ることができた2016年。そしてそれ以上に多くの方々に支えていただいた2016年。今になって振り返ればあつという間の一年間でした。メンバーの皆様を支えられ、理事長という職を無事にやり遂げることができました。メンバーの皆様には改めて心からの感謝を申し上げます。

51年目の新たな一歩を踏み出す年だったわけですが、全ての活動を行っていくなかで、長井青年会議所の存在意義を改めて考え、そしてこの地域に無くてはならない組織であることを再認識した一年でもありました。これからも地域を変革する気概と、信念ある行動で活動を続けていかなくてはならないと考えております。

今年度、基本理念に掲げた「Stay Gold ～輝き続けよう～」。私達は事業を行う事が目的ではなく、地域の方々の意識を変えていく市民意識変革団体であります。他者の意識に変化を与えるためには、まずは、メンバーが人として魅力的でなければならない。物事に真剣に取り組む姿勢を見せ、他者に影響を与えられる人間であるために自身を磨き、キラキラ輝くかっこいい大人であり続けたいという想いでありました。今年、メンバーの皆様が自分で考え、決断し実行してきたことは少なからずこの地域へ良い影響を与えたと思います。そして、その事業自体の成果よりも実施する過程のなかで、関わってくださった地域の方々や団体の皆様にも影響を与えたと考えておりますし、私達メンバーの意識も変わったのではないのでしょうか。そのような意識を変革する機会を提供し続けることが、長井青年会議所の重要な担いの一つであると思います。

まちみらい委員会、ひとづくり委員会、未来創造会議、各局には、これまでのやり方にとらわれることなく、新しい視点や手法を取り入れていただきたいとお伝えをさせていただきましたので大変なご苦勞と負荷をかけてしまったと思いますが、その意向を汲んでくださり、私の想像以上に新たな切り口や視点、例年とは違ったやり方を取り入れ素晴らしい事業を実施していただいたとっております。たとえ結果的に同じ事をやるにしても、その手法が良いのか時代にあっているのかを考えることが必要であると思いますので、皆様には深く感謝しております。

最後になりますが、改めて一年間を振り返り、理事長をやって本当に良かったと思うと共に、全てのメンバーの皆様の支えで私を理事長にさせていただいたと実感しております。皆様から支えていただきましたご恩を社会や今後の青年会議所活動へ還元できるよう邁進して参ります。一年間本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 大竹 貴之

今年度は、卒業を控える私のような立場の者に副理事長という担いを与えて頂きました事に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

当委員会では、佐藤委員長を中心となり、今まで培い継続して行ってきました事業の流れと共に、2016年度ひとづくり委員会らしさ、私達が大切にしなければならないことを発信できたのではないかと考えております。今年は、食育をテーマに一年間活動し、色々な方と巡り合い、葛藤、苦難を乗り越え、より良い事業を展開することができたのではないかと感じているところであります。事業を構築していく中で、大切なことは、勿論委員会内でのやるべき事業を思考する事ではあるのですが、やはり、様々な方々に自分たちの考え、思いを聞いて頂くことが大切だと改めて感じる事ができました。お話を聞いて頂くことで自分たちの考えに自信が持てたり、協力を頂くことができ自分たちが思う以上の事ができるようになったり、そしてそのことにより感謝する気持ちと感動が留まらない事を体験できました。また、皆様の御陰を持ちまして有意義な時間を過ごすことが出来ました。この経験を今度は家庭、会社に役立て少しずつでも着実に地域の未来に貢献できるよう努力して参りたいと思います。そして、JCメンバーの皆様には、これからも様々な方に相談し事業を構築して行ってほしいと思います。

最後になりますが、今年度当委員会に事業にご賛同、ご協力頂きました方々、長井 JC メンバーの皆様には心から感謝申し上げます、私の所管とさせて頂きたいと思います。皆様本当に一年間ありがとうございました。

所 感

副理事長 樋口 和哉

今年度、まちみらい委員会担当副理事長として一年間活動させていただきました。当委員会で掲げた、助け合い支え合う地域づくりを事業目的として防災対応力向上例会、駅周辺整備事業、地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」等を開催させていただき、各事業を実施して良かった点や改善点、反省点等ありましたが、船山委員長を筆頭に個性あふれるメンバーが各事業の立案、実施に向けて積極的に数多くの委員会を開催したことにより、それぞれの事業から、まちのみらいを地域全体で考える機会を創出できたのではないかと感じます。JCは単年度制であるが故の事業構築の難しさもありますが、前向きに捉えれば様々なことに挑戦できる柔軟性として考えられますので、変化の激しい世の中にしっかりと対応し、私たちの住む故郷の現状や課題に目を向け、より良い地域社会に発展していけるようにこれからも弛まぬ運動を続けて参ります。今年度関わっていただいた全ての皆様、そして井上理事長をはじめ長井青年会議所メンバーの皆様には心から感謝申し上げます所感とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

所 感

未来創造会議議長 齋藤 繁喜

今年度、未来創造会議議長の職をお預かりし、一年間活動を行ってまいりました。会員拡大運動、人財育成事業、新入会員の育成・サポート事業と3つの柱で、新入会員の開拓と会員の育成に関わる事業と展開してまいりましたが、会議体としての会員拡大の推進がなかなか思うように進まず、結果を出す事ができなかったのが残念でした。これまで、新入会員の拡大を推進することに特化した事業が中心でしたが、今年度の未来創造会議の新たな取り組みとして、年間を通して入会から3年未満のメンバーを対象とした育成サポート事業の充実を図り、一年間活動を行ってまいりました。一人前のJAYCEEをするために、会員一人ひとりが新入会員の育成に積極的にに関わり、共に成長できるLOM内での環境を整えることが必要であると考えております。すべての会員が会員拡大の担当者であり、人財育成の担当者であるという意識をしっかりと持ち、長井青年会議所を60年、70年と未来へ永続させるために、組織強化へ取り組んでまいりましょう。一年間、本当にありがとうございました。

所 感

専務理事 梅津 壮一郎

今年度、専務理事として組織運営に携わる事ができ、とても有意義な1年間を過ごさせて頂きました。齋藤事務局長・玉橋総務局長・橋本財政局長を中心に、事務局メンバーそれぞれが役割を全ういただき、共に長井青年会議所の事業を支えて頂いた事を本当に感謝しております。この1年間を通して、多くの気付きと学びを得ることができました。この経験を自分自身の成長に繋げ、今よりもさらに魅力と活力に満ちた経済人となり、地域貢献を通して「明るく豊かな社会」の実現に向けた努力を続けていきたいと思っております。最後に、組織運営に対してご協力いただきました関係者、長井JCメンバーの皆様に、心から感謝申し上げ所感とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【2016年度 常任理事会・理事会 出席状況】

役職名	理事	氏名	臨時	第2回理事会		第3回理事会		第4回理事会		第5回理事会		第6回理事会		第7回理事会		第8回理事会		8/16 臨時	第9回理事会		第10回理事会		第11回理事会		11/29 臨時	第12回理事会		決算理事会		
			理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	理事	常任	理事	常任	理事	
理事長	◆	井上 典嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
直前理事長	◆	板垣 洋一	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
監事		鈴木 喜典	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	×	×	/	○	/	○	/	○	×	/	○	/	○	
副理事長	◆	大竹 貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
副理事長	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未来創造会議議長	◆	齋藤 繁喜	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
専務理事	◆	梅津 壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひとづくり委員会委員長	◆	佐藤 和之	○	/	○	/	×	/	○	/	○	/	×	/	○	/	○	×	/	○	/	○	/	○	×	/	○	/	○	
まちみらい委員会委員長	◆	船山 裕紀	○	/	×	/	○	/	×	/	×	/	○	/	○	/	○	×	/	×	/	×	/	○	○	/	×	/	○	
未来創造会議副議長	◆	小関 幸一	○	/	×	/	○	/	○	/	○	/	×	/	○	/	○	○	/	○	/	×	/	○	○	/	×	/	○	
未来創造会議副議長	◆	小笠原 信吾	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	×	/	○	/	○	○	/	○	/	○	/	○	×	○	/	○	/	○
未来創造会議副議長	◆	齋藤 憲幸	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	
事務局長	◆	齋藤 圭央	○	/	○	/	○	/	×	/	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	
総務局長	◆	玉橋 恵子	○	/	○	/	○	/	×	/	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	/	○	○	/	○	/	○	
財務局長	◆	橋本 一磨	○	/	○	/	×	/	×	/	×	/	○	/	○	/	○	○	/	×	/	○	/	×	○	/	×	/	○	

【理事役員会報告】

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第1回 理事予定者会議	2015.10.6 JCルーム	<p>討議事項</p> <p>1.理事長所信(案)について</p> <p>協議事項</p> <p>1.2016年度 基本理念・基本方針・基本重点(案)について</p> <p>2.2016年度 職務分掌(案)について</p> <p>3.2016年度 組織図(案)について</p> <p>4.2016年度 基本運営(案)について</p>	13
第2回 理事予定者会議	2015.10.20 JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1.2016年度 基本理念・基本方針・基本重点(案)について</p> <p>2.2016年度 職務分掌(案)について</p> <p>3.2016年度 組織図(案)並びに役員名簿(案)について</p> <p>4.2016年度 基本運営(案)について</p> <p>5.2016年度 基本計画書(案)について</p> <p>6.こどもゆめ基金申請について (ひとづくり委員会)</p> <p>7.2016年度 公式スケジュール(案)</p> <p>審議事項</p> <p>1.2016年度 基本理念・基本方針・基本重点(案)について</p> <p>2.2016年度 職務分掌(案)について</p> <p>3.2016年度 組織図(案)について</p> <p>4.2016年度 基本運営(案)について</p> <p>5.こどもゆめ基金申請について (ひとづくり委員会)</p>	13
第3回 理事予定者会議	2015.11.10 JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1.2016年度 基本計画書(案)について</p> <p>2.みんなで防災対応向上計画について (まちみらい委員会)</p> <p>3.新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>4.山形ブロック協議会会長公式訪問について (事務局)</p> <p>5.ホームページ運営について (総務局)</p> <p>6.2016年度 当初予算(案)について (財政局)</p> <p>7.2016年度 公式スケジュール(案)について (事務局)</p> <p>8.LOMスローガンについて (事務局)</p>	10
第4回 理事予定者会議	2015.11.24 JCルーム	<p>討議事項</p> <p>1.2016年度 組織図(案)について</p> <p>協議事項</p> <p>1.2016年度 基本計画書(案)について</p> <p>2.みんなで防災対応向上計画について (まちみらい委員会)</p> <p>3.新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>4.山形ブロック協議会会長公式訪問について (事務局)</p> <p>5.ホームページ運営について (総務局)</p> <p>6.2016年度 当初予算(案)について (財政局)</p> <p>7.2016年度 公式スケジュール(案)について (事務局)</p> <p>8.LOMスローガンについて (事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>1.2016年度 基本計画書(案)について</p> <p>2.みんなで防災対応向上計画について (まちみらい委員会)</p> <p>3.新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>4.山形ブロック協議会会長公式訪問について (事務局)</p> <p>5.ホームページ運営について (総務局)</p> <p>6.2016年度 当初予算(案)について (財政局)</p> <p>7.2016年度 公式スケジュール(案)について (事務局)</p> <p>8.LOMスローガンについて (事務局)</p>	13
臨時 理事会	2016.1.27 TASパークホテル	<p>協議事項</p> <p>1.2016年度 理事長選定の件について</p> <p>2.2016年度 副理事長及び専務理事選定の件について</p> <p>3.2016年度 理事職(案)について</p> <p>審議事項</p> <p>1.2016年度 理事長選定の件について</p> <p>2.2016年度 副理事長及び専務理事選定の件について</p> <p>3.2016年度 理事職(案)について</p>	14

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第2回 理事会	2016.2.4 JCルーム	協議事項 1.みんなで防災対応力向上例会について（まちみらい委員会） 2.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」について（まちみらい委員会） 3.会員拡大運動について（未来創造会議） 4.人財育成事業について（未来創造会議） 5.山形ブロック協議会 会長公式訪問例会について（事務局） 審議事項 1.みんなで防災対応力向上例会 日時・場所・アンケートについて（まちみらい委員会） 2.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」協力依頼・企画書について（まちみらい委員会） 3.会員拡大運動 入会パンフレットについて（未来創造会議） 4.人財育成事業 日時・場所・講師・チラシについて（未来創造会議） 5.山形ブロック協議会 会長公式訪問例会について（事務局）	12
第3回 理事会	2016.3.3 JCルーム	協議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(春季)について（ひとづくり委員会） 2.みんなで防災対応力向上例会について（まちみらい委員会） 3.みんなで灯そう夢灯について（まちみらい委員会） 4.人財育成事業について（未来創造会議） 5.新春賀詞交歓会補正予算書について（事務局） 6.新春賀詞交歓会事業報告について（事務局） 審議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(春季)、日時・場所・案内文について（ひとづくり委員会） 2.みんなで防災対応力向上例会について（まちみらい委員会） 3.人財育成事業について（未来創造会議） 4.新春賀詞交歓会補正予算書について（事務局） 5.新春賀詞交歓会事業報告について（事務局）	11
第4回 理事会	2016.4.7 JCルーム	協議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(春季)について（ひとづくり委員会） 2.ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 3.みんなで灯そう夢灯について（まちみらい委員会） 4.長井駅周辺整備事業について（まちみらい委員会） 5.吉川明紀君正会員承認について（未来創造会議） 6.山形ブロック協議会会長公式訪問例会事業報告について（事務局） 7.ながいOMOIYARIプロジェクトについて（事務局） 8.「地域活性化事業みんなで灯そう夢灯」JT NPO助成事業終了報告について（事務局） 審議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(春季)について（ひとづくり委員会） 2.みんなで灯そう夢灯について(部分審議)（まちみらい委員会） 3.吉川明紀君正会員承認について（未来創造会議） 4.ながいOMOIYARIプロジェクトについて(部分審議)（事務局） 5.山形ブロック協議会会長公式訪問例会事業報告について（事務局） 6.「地域活性化事業みんなで灯そう夢灯」JT NPO助成事業終了報告について（事務局）	12
第5回 理事会	2016.5.6 JCルーム	協議事項 1.ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 2.みんなで防災対応力向上例会 補正予算について（まちみらい委員会） 3.みんなで防災対応力向上例会 事業報告について（まちみらい委員会） 4.長井駅周辺整備事業について（まちみらい委員会） 5.みんなで灯そう夢灯について（まちみらい委員会） 6.6月例会ながいOMOIYARIプロジェクトについて（事務局） 審議事項 1.ながい寺子屋 日時・場所・後援依頼書について（ひとづくり委員会） 2.みんなで防災対応力向上例会 補正予算について（まちみらい委員会） 3.みんなで防災対応力向上例会 事業報告について（まちみらい委員会） 4.長井駅周辺整備事業について（まちみらい委員会） 5.みんなで灯そう夢灯について（まちみらい委員会） 6.6月例会ながいOMOIYARIプロジェクト、依頼文・案内文について(事務局)	11
第6回 理事会	2016.6.2 JCルーム	協議事項 1.みんなで灯そう夢灯(夢授業)について（まちみらい委員会） 2.ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 3.納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 4.新入会員育成・サポート(第1回目)について（未来創造会議） 5.6月例会ながいOMOIYARIプロジェクトについて（事務局） 審議事項 1.みんなで灯そう夢灯 夢授業開催告知チラシについて（まちみらい委員会） 2.ながい寺子屋 ポスター・チラシ・配布物について（ひとづくり委員会） 3.6月例会ながいOMOIYARIプロジェクトについて（事務局）	12
第7回 理事会	2016.7.7 JCルーム	協議事項 1.みんなで灯そう夢灯 修正議案について（まちみらい委員会） 2.小国町長選挙公開討論会について（まちみらい委員会） 3.長井JC杯中学野球大会(春季)補正事業予算について（ひとづくり委員会） 4.長井JC杯中学野球大会(春季)事業報告について（ひとづくり委員会）	13

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		5.ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 6.納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 7.人財育成事業 変更事業計画書及び補正事業予算書について（未来創造会議） 8.人財育成事業 事業報告について（未来創造会議） 9.新入会員育成・サポートについて（未来創造会議） 10.置賜4JC合同例会について（事務局） 11.AWARDS JAPAN 2016 申請について（事務局） 12.8月通常総会について（総務局） 13.広報誌「あゆみ」について（総務局） 14.7月補正予算について（財政局） 審議事項 1.みんなで灯そう夢灯 夢授業講師依頼文・講師承諾書について（まちみらい委員会） 2.小国町長選挙公開討論会について（まちみらい委員会） 3.長井JC杯中学野球大会(春季)補正事業予算について（ひとづくり委員会） 4.長井JC杯中学野球大会(春季)事業報告について（ひとづくり委員会） 5.ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 6.納涼パーティーについて 日時・場所・案内文について（ひとづくり委員会） 7.人財育成事業 変更事業計画書及び補正事業予算書について（未来創造会議） 8.人財育成事業 事業報告について（未来創造会議） 9.新入会員育成・サポートについて（未来創造会議） 10.AWARDS JAPAN 2016 申請について（事務局） 11.8月通常総会 日時・場所・案内文について（総務局）	
第8回 理事会	2016.8.4 JCルーム	協議事項 1.納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 2.「食育」をテーマにした講演会について（ひとづくり委員会） 3.みんなで灯そう夢灯 夢授業について（まちみらい委員会） 4.新入会員育成・サポートについて（未来創造会議） 5.梅津拓郎君入会承認(仮会員)について（未来創造会議） 6.置賜4JC合同例会について（事務局） 7.8月通常総会について（総務局） 8.広報誌「あゆみ」について（総務局） 9.次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） 10.8月補正予算書について（財政局） 11.2017年度 理事長候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 12.2017年度 理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 審議事項 1.納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 2.「食育」をテーマにした講演会 日時・場所・共催・講演依頼書について（ひとづくり委員会） 3.みんなで灯そう夢灯 夢授業について（まちみらい委員会） 4.新入会員育成・サポートについて（未来創造会議） 5.梅津拓郎君入会承認(仮会員)について（未来創造会議） 6.置賜4JC合同例会 日時・場所・事業概要・案内文について（事務局） 7.広報誌「あゆみ」 対外配布資料について（総務局） 8.次年度理事長候補者所信発表例会 日時・場所について（総務局） 9.8月補正予算書について（財政局） 10.2017年度 理事長候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 11.2017年度 理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 12.8月通常総会について（総務局）	14
8月16日 臨時理事会	2016.8.16 JCルーム	協議事項 1.2017年度 理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 2.8月通常総会について（総務局） 審議事項 1.2017年度 理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 2.8月通常総会について（総務局）	12
第9回 理事会	2016.9.1 JCルーム	討議事項 1.ながい寺子屋(秋の塾)について 協議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(秋季の部)について（ひとづくり委員会） 2.「食育」をテーマにした講演会について（ひとづくり委員会） 3.地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯 夢授業について（まちみらい委員会） 4.新入会員育成サポートについて（未来創造会議） 5.置賜4JC合同例会について（事務局） 6.次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） 審議事項 1.第25回JC杯中学野球大会(秋季の部) 案内文・依頼文について（ひとづくり委員会） 2.「食育」をテーマにした講演会 パネリスト・チラシ等について（ひとづくり委員会） 3.地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯 夢授業について（まちみらい委員会） 4.新入会員育成サポートについて（未来創造会議） 5.置賜4JC合同例会について（事務局） 6.次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局）	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第10回 理事会	2016.10.5 JCルーム	協議事項 1.「食育」をテーマにした講演会について（ひとづくり委員会） 2.第25回JC杯中学野球大会(秋季の部)について（ひとづくり委員会） 3.卒業式について（総務局） 審議事項 1.「食育」をテーマにした講演会について（ひとづくり委員会） 2.第25回JC杯中学野球大会(秋季の部)について（ひとづくり委員会） 3.卒業式(日時・場所・案内文)について（総務局）	10
第11回 理事会	2016.11.4 JCルーム	協議事項 1.クリスマスパーティーについて（まちみらい委員会） 2.納涼パーティー(事業報告決算書)について（ひとづくり委員会） 3.新入会員育成・サポート(修正議案書)について（未来創造会議） 4.梅津拓郎君入会(正会員)承認について（未来創造会議） 5.小松雄一君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 6.渋谷祥平君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 7.小松祐一郎君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 8.鈴木政宏君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 9.ながいOMOIYARIプロジェクト(補正事業予算書)について（事務局） 10.ながいOMOIYARIプロジェクト(事業報告決算書)について（事務局） 11.次年度所信発表例会(補正事業予算書)について（総務局） 12.次年度所信発表例会(事業報告決算書)について（総務局） 13.あゆみ発行について（総務局） 14.卒業式について（総務局） 審議事項 1.12月例会変更について（事務局） 2.クリスマスパーティー(日時・場所・事業概要)について（まちみらい委員会） 3.納涼パーティー(事業報告決算書)について（ひとづくり委員会） 4.新入会員育成・サポート(修正議案書)について（未来創造会議） 5.梅津拓郎君入会(正会員)承認について（未来創造会議） 6.小松雄一君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 7.渋谷祥平君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 8.小松祐一郎君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 9.鈴木政宏君入会(仮会員)承認について（未来創造会議） 10.ながいOMOIYARIプロジェクト(補正事業予算書)について（事務局） 11.ながいOMOIYARIプロジェクト(事業報告決算書)について（事務局） 12.次年度所信発表例会(補正事業予算書)について（総務局） 13.次年度所信発表例会(事業報告決算書)について（総務局） 14.あゆみ発行について（総務局） 15.卒業式について（総務局）	12
11月29日 臨時理事会	2016.11.29 JCルーム	協議事項 1.置賜4JC合同例会 補正事業予算書について（事務局） 2.置賜4JC合同例会 事業報告決算書について（事務局） 3.広報誌「あゆみ」について（総務局） 審議事項 1.置賜4JC合同例会 補正事業予算書について（事務局） 2.置賜4JC合同例会 事業報告決算書について（事務局） 3.広報誌「あゆみ」について（総務局）	13
第12回 理事会	2016.12.15 JCルーム	協議事項 1.ながい寺子屋「弁当の日」体験塾 補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 2.ながい寺子屋「弁当の日」体験塾 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 3.JC杯中学野球大会(秋季)補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 4.JC杯中学野球大会(秋季)事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 5.「食育」をテーマにした講演会 補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 6.「食育」をテーマにした講演会 事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 7.クリスマスパーティーについて（まちみらい委員会） 8.5月例会長井駅周辺整備事業 補正事業予算書について（まちみらい委員会） 9.5月例会長井駅周辺整備事業 事業報告決算書について（まちみらい委員会） 10.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」補正事業予算書について（まちみらい委員会） 11.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」事業報告決算書について（まちみらい委員会） 12.公開討論会 補正事業予算書について（まちみらい委員会） 13.公開討論会 事業報告決算書について（まちみらい委員会） 14.玉橋恵子君退会について（事務局） 15.佐藤和之君退会について（事務局） 16.山口康之君退会について（事務局） 17.橋本一磨君退会について（事務局） 18.鈴木香澄君退会について（事務局） 19.11月例会卒業式 補正事業予算書について（総務局） 20.11月例会卒業式 事業報告決算書について（総務局） 21.12月補正予算書について（総務局） 22.2017年度基本資料について（2017年度事務局） 23.2017年度事業計画について（2017年度事務局） 24.新春賀詞交歓会について（2017年度事務局）	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		<p>25.2月例会 障がい者セミナーについて (2017年度事務局)</p> <p>26.3月例会 他団体交流会について (2017年度事務局)</p> <p>27.ホームページ運営について (2017年度事務局)</p> <p>28.2017年度 当初予算(案)について (2017年度事務局)</p> <p>29.2017年度 公式スケジュール(案)について (2017年度事務局)</p> <p>30.2017年度 スローガン(案)について (2017年度事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>1.ながい寺子屋「弁当の日」体験塾 補正事業予算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>2.ながい寺子屋「弁当の日」体験塾 事業報告決算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>3.JC杯中学野球大会(秋季)補正事業予算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>4.JC杯中学野球大会(秋季)事業報告決算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>5.「食育」をテーマにした講演会 補正事業予算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>6.「食育」をテーマにした講演会 事業報告決算書について (ひとづくり委員会)</p> <p>7.クリスマスパーティーについて (まちみらい委員会)</p> <p>8.5月例会長井駅周辺整備事業 補正事業予算書について (まちみらい委員会)</p> <p>9.5月例会長井駅周辺整備事業 事業報告決算書について (まちみらい委員会)</p> <p>10.公開討論会 補正事業予算書について (まちみらい委員会)</p> <p>11.公開討論会 事業報告決算書について (まちみらい委員会)</p> <p>12.玉橋恵子君退会について (事務局)</p> <p>13.佐藤和之君退会について (事務局)</p> <p>14.山口康之君退会について (事務局)</p> <p>15.橋本一磨君退会について (事務局)</p> <p>16.鈴木香澄君退会について (事務局)</p> <p>17.11月例会卒業式 補正事業予算書について (総務局)</p> <p>18.11月例会卒業式 事業報告決算書について (総務局)</p> <p>19.12月補正予算書について (財政局)</p> <p>20.2017年度基本資料について (2017年度事務局)</p> <p>21.2017年度事業計画について (2017年度事務局)</p> <p>22.新春賀詞交歓会(日時・場所)について (2017年度事務局)</p> <p>23.2月例会 障がい者セミナー(日時・場所)について (2017年度事務局)</p> <p>24.3月例会 他団体交流会(日時・場所)について (2017年度事務局)</p> <p>25.ホームページ運営について (2017年度事務局)</p> <p>26.2017年度 当初予算(案)について (2017年度事務局)</p> <p>27.2017年度 公式スケジュール(案)について (2017年度事務局)</p> <p>28.2017年度 スローガン(案)について (2017年度事務局)</p>	
決算 理事会	2017.1.12 JCルーム	<p>協議事項</p> <p>1.新春賀詞交歓会について (2017年事務局)</p> <p>2.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」 補正事業予算書について (まちみらい委員会)</p> <p>3.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」 事業報告について (まちみらい委員会)</p> <p>4.クリスマスパーティー 事業報告について (まちみらい委員会)</p> <p>5.会員拡大運動 事業報告について (未来創造会議)</p> <p>6.新入会員の育成・サポート 補正事業予算書について (未来創造会議)</p> <p>7.新入会員の育成・サポート 事業報告について (未来創造会議)</p> <p>8.ホームページ運営 事業報告について (総務局)</p> <p>9.広報誌あゆみ 補正事業予算書について (総務局)</p> <p>10.広報誌あゆみ 事業報告について (総務局)</p> <p>11.1月通常総会について (総務局)</p> <p>12.2016年度補正予算(案)について (財政局)</p> <p>13.2016年度決算(案)について (財政局)</p> <p>審議事項</p> <p>1.新春賀詞交歓会について (2017年事務局)</p> <p>2.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」 補正事業予算書について (まちみらい委員会)</p> <p>3.地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」 事業報告について (まちみらい委員会)</p> <p>4.クリスマスパーティー 事業報告について (まちみらい委員会)</p> <p>5.会員拡大運動 事業報告について (未来創造会議)</p> <p>6.新入会員の育成・サポート 補正事業予算書について (未来創造会議)</p> <p>7.新入会員の育成・サポート 事業報告について (未来創造会議)</p> <p>8.ホームページ運営 事業報告について (総務局)</p> <p>9.広報誌あゆみ 補正事業予算書について (総務局)</p> <p>10.広報誌あゆみ 事業報告について (総務局)</p> <p>11.1月通常総会について (総務局)</p> <p>12.2016年度補正予算(案)について (財政局)</p> <p>13.2016年度決算(案)について (財政局)</p>	13

【 会 議 報 告 】

会議名	期日	会場	登録者
京都会議	1月22日(金) } 1月24日(日)	京都	井上典嗣、大竹貴之、梅津壮一郎 遠藤浩樹、齋藤圭央、玉橋恵子
ASPAC	6月2日(木) } 6月5日(日)	高雄	—
サマーコンファレンス	7月16日(土) } 7月17日(日)	横浜	井上典嗣、板垣洋一、大竹貴之 梅津壮一郎、遠藤浩樹、橋本一磨
JCI 世界会議	11月5日(火) } 11月10日(日)	ケベック	—

【 会 員 動 向 】

卒業者 2名	遠藤浩樹、大竹貴之
入会者 2名	吉川明紀、梅津拓郎
休会者 0名	
退会者 5名	佐藤和之、玉橋恵子、橋本一磨、山口康幸、鈴木香澄

【 総 会 報 告 】

総会種類	日時	場所	議 案
1月通常総会	1月27日(水) 19:00～	タス パークホテル	第1号議案 2015年度 決算(案)承認の件 第2号議案 2016年度 理事選任の件
8月通常総会	8月24日(水) 18:00～	グランパリス パーティリゾート ト	第1号議案 2017年度 理事候補者(案)承認の件 第2号議案 2017年度 理事長候補者(案)承認の件 第3号議案 2017年度 監事選任の件

【 会 員 大 会 報 告 】

大会名	期日	会場	登録者
ブロック会員大会	7月30日(土)	上山	井上典嗣、板垣洋一、樋口和哉 齋藤繁喜、梅津壮一郎、佐藤和之 山口康幸、船山裕紀、小林和正 遠藤浩樹、影山孝史、小笠原信吾 小関幸一、齋藤憲幸、齋藤圭央 玉橋恵子、大泉紀也
東北青年フォーラム	9月3日(土) 9月4日(日)	登米	井上典嗣、板垣洋一、大竹貴之 樋口和哉、梅津壮一郎、小関幸一 齋藤憲幸
全国会員大会	10月6日(木) 10月9日(日)	広島	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 大竹貴之、樋口和哉、梅津壮一郎 佐藤和之、遠藤浩樹、小笠原信吾 齋藤憲幸

【 祝 事 】

周年事業名	期日	会場	登録者
河北 J C 40 周年	4 月 23 日(土)	河北町	井上典嗣、板垣洋一、大竹貴之 梅津壮一郎、齋藤圭央
南陽 J C 50 周年	5 月 21 日(土)	南陽市	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 大竹貴之、樋口和哉、齋藤繁喜 梅津壮一郎、佐藤和之、山口康幸 川合直仁、小林和正、遠藤浩樹 小関幸一、齋藤憲幸、齋藤圭央 橋本一磨、大泉紀也
米沢 J C 55 周年	6 月 17 日(金)	米沢市	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 樋口和哉、齋藤繁喜、梅津壮一郎 川合直仁、小林和正、遠藤浩樹 影山孝史、小笠原信吾、小関幸一 齋藤憲幸、齋藤圭央、大泉紀也
村山 J C 40 周年	6 月 24 日(金)	村山市	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 大竹貴之、齋藤繁喜、梅津壮一郎 齋藤圭央、玉橋恵子
上山 J C 40 周年	9 月 25 日(日)	上山市	井上典嗣、板垣洋一、大竹貴之 梅津壮一郎
酒田 J C 50 周年	9 月 30 日(金)	酒田市	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 大竹貴之、梅津壮一郎、山口康幸
鶴岡 J C 50 周年	10 月 21 日(金)	鶴岡市	井上典嗣、板垣洋一、大竹貴之 樋口和哉、小笠原信吾
東根 J C 40 周年	10 月 23 日(日)	東根市	井上典嗣、板垣洋一、鈴木喜典 大竹貴之、梅津壮一郎、小笠原信吾

【 例 会 報 告 】

例会	期日	会場	主管	内容
1月例会	1月27日 (水)	TAS パーク ホテル	2015年 事務局	1月通常総会 第1号議案 2015年度決算(案)承認の件 第2号議案 2016年度理事(案)選任の件
2月例会	2月18日 (木)	TAS パークホテル	事務局	山形ブロック協議会会長公式訪問例会
3月例会	3月17日 (木)	置賜生涯 学習プラザ	まちみらい 委員会	みんなで防災対応力向上例会
4月例会	4月21日 (木)	TAS パーク ホテル	未来創造 会議	人財育成事業 ブランディング入門セミナー
5月例会	5月19日 (木)	長井駅周辺	まちみらい 委員会	長井駅周辺整備事業
6月例会	6月19日 (日)	最上川河川 緑地公園	事務局	ながいOMO I Y A R Iプロジェクト
7月例会	7月23日 (土)	平野地区公民館	ひとつづくり 委員会	ながい寺子屋 「弁当の日」体験塾 夏の塾
8月例会	8月24日 (水)	グランパリス パーティ リゾート	総務局	8月通常総会 第1号議案 2017年度理事候補者(案)承認の件 第2号議案 2017年度理事長候補者(案)承認の件 第3号議案 2017年度監事選任の件
9月例会	9月16日 (金)	白鷹町文化交流 センター あゆむ	総務局	次年度理事長候補者所信発表会
10月例会	10月15日 (土)	置賜生涯 学習プラザ	事務局	置賜4JC 合同例会
11月例会	11月18日 (金)	グランパリス パーティ リゾート	総務局	卒業式
12月例会	12月12日 (月)	長井観光はぎ苑	未来創造 会議	新入会員育成・サポート 第3回講習会

【 事 業 報 告 】

事業名	期日	場所	主管
新春賀詞交歓会	1月14日(木)	長井観光はぎ苑	事務局
ながい雪灯り回廊まつり 2016	2月6日(土)	最上川堤防沿い	ひとづくり委員会
第25回 JC 杯中学野球大会	5月3日(火) 5月4日(水)	飯豊町営球場	ひとづくり委員会
地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯	6月11日(土) 6月18日(土)	長井あやめ公園	まちみらい委員会
新入会員育成・サポート 第1回講習会 「擬似委員会」	7月11日(日)	長井商工会議所 研修室	未来創造会議
ながい水まつり	8月6日(土)	最上川河川 緑地公園	事務局
納涼パーティー	8月24日(水)	グランパリス パーティリゾート	ひとづくり委員会
ながい寺子屋 「弁当の日」体験塾 秋の塾	9月10日(土)	野川まなび館 長井ダム合地沢湖面広場	ひとづくり委員会
新入会員育成・サポート 第2回講習会 「ロールプレイング理事会」	9月16日(金)	白鷹町文化交流 センターあゆーむ	未来創造会議
ふれあい福祉まつり	9月17日(土)	置賜生涯 学習プラザ	事務局
地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯 夢授業	9月25日(日)	西根地区公民館	まちみらい委員会
食育をテーマにした講演会 食で育む生きる力	10月20日(木)	置賜生涯 学習プラザ	ひとづくり委員会
フラワー長井線まつり	10月23日(日)	長井駅	まちみらい委員会
第25回 JC 杯中学野球大会 秋季の部	11月6日(日)	飯豊町営球場	ひとづくり委員会
クリスマスパーティー	12月18日(日)	桑島記念館	まちみらい委員会

【2016年例会出欠状況】

No	役 職 名	理事	氏 名	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会	例会 出席回数	例会 出席率			
1	理 事 長	◆	井上 典嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
2	直前理事長	◆	板垣 洋一	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	11	92%			
3	監 事		鈴木 喜典	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	92%			
4	副理事長	◆	大竹 貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
5	副理事長	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
6	未来創造会議副議長	◆	齋藤 繁喜	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	83%			
7	専務理事	◆	梅津壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
8	ひとつづくり委員会 委員長	◆	佐藤 和之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	11	92%			
9			山口 康幸	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%			
10			那須 丈雄	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	4	33%			
11			井上 真	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	4	33%			
12			飯澤 喜治	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	4	33%			
13			川合 直仁	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	8	67%			
14			鈴木 香澄	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	2	17%			
15	まちみらい委員会 委員長	◆	船山 裕紀	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	4	33%			
16			小林 和正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	10	83%			
17			遠藤 浩樹	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	10	83%			
18			中川 一聖	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	8	67%			
19			影山 孝史	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	10	83%			
20			遠藤 穰一	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	1	8%			
21			吉川 明紀	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	6	50%			
22			梅津 拓郎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	×	○	×	2	17%
23	未来創造会議副議長	◆	小笠原 信吾	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	8	67%			
24	未来創造会議副議長	◆	小関 幸一	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	9	75%			
25	未来創造会議副議長	◆	齋藤 憲幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
26	事務局長	◆	齋藤 圭央	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	92%			
27	総務局長	◆	玉橋 恵子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%			
28	財政局長	◆	橋本 一磨	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	3	25%			
29	事務局補佐		飯澤 栄人	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	1	8%			
30	事務局補佐		渡部 清隆	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	4	33%			
31	事務局補佐		大泉 紀也	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	10	83%			
32	仮会員		小松雄一	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	2	17%	
33	仮会員		渋谷祥平	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	2	17%	
34	仮会員		小松祐一郎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	2	17%	
出席数				21	21	20	20	15	17	23	30	16	17	28	23					
出席率				72%	72%	69%	69%	52%	59%	79%	103%	55%	57%	104%	85%					

公益社団法人長井青年会議所
2016年度 代表理事職務執行報告

理事長 井上 典嗣

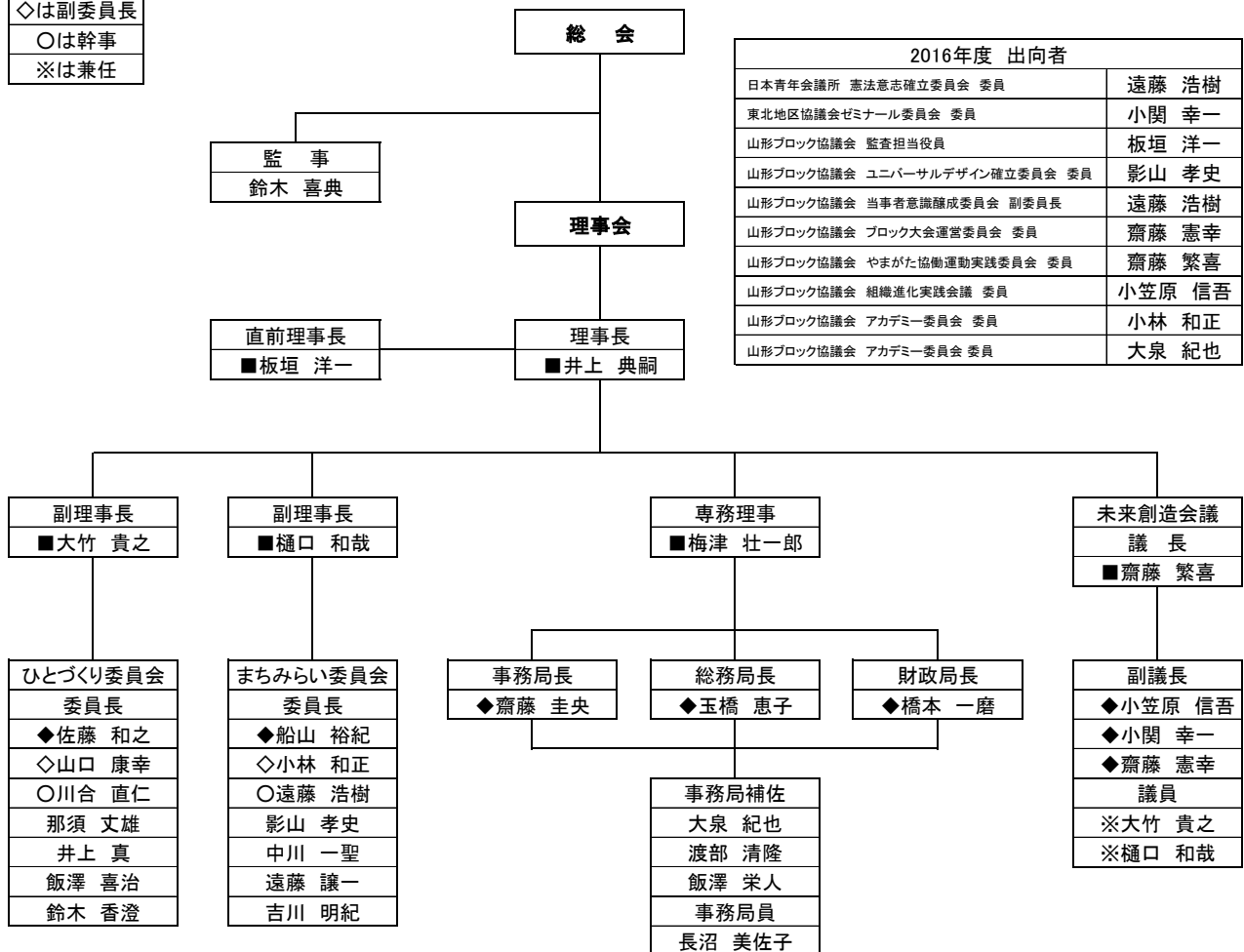
期 日	内 容	場 所	代理出席者
10月19日	長井市青少年育成団体 情報交換会	長井市教育委員会	
10月25日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議	酒田市	
11月28日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議	酒田市 産業会館	
12月6日	東北地区協議会 第1回会員会議所候補者会議	青森県青森市	
12月9日	置賜4JC新旧理事長・専務会	南陽市	
1月4日	長井市新春祝賀会	タスパークホテル	
1月10日	多田歴代理事長葬儀	タスパークホテル	
1月12日	白鷹町、飯豊町各首長と大竹OB会長へ新春のご挨拶	白鷹町役場、飯豊町役場、長井市内	
1月13日	小国町長へ新春のご挨拶	小国町役場	
1月13日	長井商工会議新春祝賀会	タスパークホテル	
1月20日	長井市長へ新春ご挨拶	長井市役所	
1/22~24	日本青年会議所 京都会議 日本JC総会	京都市 京都国際会議場	
1月28日	山形JC新春賀詞交歓会	山形市 ホテルメトロポリタン山形	
1月30日	第1回会員会議所会議&アカデミー開講式&山形ブロック協議会新春賀詞交歓会	新庄市	
2月11日	山形ブロック協議会 第2回役員会議	長井市 市民文化会館	
2月24日	長井市都市再生計画検討委員会	交流センターふらり	
2月27日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	山形市	
3月15日	長井ロータリークラブ 3月例会卓話	タスパークホテル	
3月17日	長井市社会福祉協議会 事業	長井市社会福祉協議会	
3月17日	まちづくり青少年育成市民会議 理事会	長井市教育委員会	
3月23日	山形ブロック協議会 誰もが住みよいユニバーサル社会を学ぶセミナー	天童市	
3月23日	山形ブロック協議会 会員資質向上セミナー	天童市	
3月24日	小国町立小国中学校校長へご挨拶	小国中学校	
3月25日	国際ソロプチミスト長井 事業	タスパークホテル	
3月26日	日本青年会議所 総会	東京都	
3月27日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	東京都	
4月8日	新東北3つの夢達成祝賀会	青森県八戸市	
4月23日	河北JC周年記念式典祝賀会	河北町	
4月24日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	米沢市	樋口和哉
4月26日	青年団体連絡協議会 総会	喜美乃家	
4月30日	置賜4JC理事長・専務会	米沢市	
4月30日	山形ブロック協議会 憲法事業	鶴岡市	
5月9日	青年団体連絡協議会 運営委員会	教育委員会	樋口和哉
5月10日	日本JC会頭公式訪問	秋田県湯沢市	
5月21日	南陽JC周年記念式典祝賀会	南陽市	
5月25日	長井市明るい選挙推進協議会 総会	長井市民文化会館	
5月25日	長井市防犯協会 総会	長井市民文化会館	
5月25日	長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	梅津壮一郎
5月26日	長井市観光協会 総会	はぎ苑	
5月28日	山形ブロック協議会ブロック大会会場視察会	上山市	

5月28日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	はぎ苑	
5月30日	山形鉄道公共交通活性化協議会 総会	タスパークホテル	
5月30日	フラワー長井線利用拡大協議会 総会	タスパークホテル	
6月2日	かわまちづくり推進協議会 全体会	長井市民文化会館	
6月14日	JT NPO助成報告会	仙台市 JT東北支社	
6月17日	米沢JC周年記念式典祝賀会	米沢市	
6月18日	東北地区協議会ゼミナール委員会	米沢市	
6月20日	山形ブロック協議会 参院選 公開討論会	山形市 ビッグウイング	
6月24日	村山JC周年記念式典祝賀会	村山市	
6月25日	長井市観光協会 理事会	あやめ会館	
6月26日	山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議	寒河江市 ハートフルセンター	
6月27日	まちづくり青少年育成市民会議 総会	交流センターふらり	
6月28日	親和会 総会	酒楽	
6月28日	福祉まつり実行委員会	長井市社会福祉協議会	齋藤圭央
6月29日	災害ボランティア連絡協議会	長井市社会福祉協議会	樋口和哉
7月5日	社会を明るくする運動長井大会	生涯学習プラザ	
7月7日	ミズベリングプロジェクト	河川緑地公園フットパス	
7月12日	置賜4JC理事長・専務会	長井市 中央会館	
7/16~17	サマーコンファレンス2016	横浜市 パシフィコ横浜	
7月25日	子育て支援施設検討会議	長井市保健センター	
7月29日	山形ブロック協議会理事長会	上山市	
7月30日	山形ブロック協議会ブロック大会上山大会	上山市	
8月6日	ながい水まつり	河川緑地公園	
8月19日	長井市長内谷重治氏と対談	長井市役所	
9/3~4	東北地区協議会ゼミナール委員会閉校式、青年フォーラム	宮城県登米市	
9月17日	長井市福祉まつり	生涯学習プラザ	
9月22日	長井市千人いも煮会	あやめ公園	
9月22日	青少年育成団体との講演会事前打ち合わせ会	山志ん	
9月24日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	南陽市 蔵ら	
9月25日	上山JC周年記念式典祝賀会	上山市	
9月30日	酒田JC周年記念式典祝賀会	酒田市 希望ホール	
10月2日	長井市防災訓練	西根小学校	樋口和哉
10月4日	内谷市長ご母堂様葬儀	ナウエルホール長井	梅津壮一郎
10月4日	置賜4JC理事長・専務会	南陽市	
10/7~9	日本青年会議所全国大会広島大会 日本JC総会	広島市	
10月12日	長井市役所 入会説明会	すしてつ	
10月14日	芒種会 仲野益美様(天童JCOB)講演会	はぎ苑	
10月21日	鶴岡JC50周年記念式典祝賀会	鶴岡市	
10月22日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議	酒田市	
10月23日	東根JC40周年記念式典祝賀会	東根市グランドホテル	
10月26日	ナウエルグループ70周年記念祝賀会	米沢市グランドホクヨウ	
10月28日	長井商工会議所青年部会40周年記念祝賀会	はぎ苑	
10月28日	山形ブロック協議会 アニュアルレポートミーティング	新庄市	大竹貴之
11月7日	フラワー都市連絡協議会 打合せ	長井市役所第2庁舎	梅津壮一郎
11月12日	第1回フラワー長井線利用拡大シンポジウム	白鷹町 あゆ一む	

11月18日	長井市振興審議会	交流センターふらり	
11月26日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議、卒業式	新庄市	
12月2日	東北地区協議会 第2回会員会議所会議	岩手県盛岡市	
12月3日	長井市青年団体連絡協議会 交流事業	交流センターふらり	
12月4日	長井市社会福祉協議会 設立50周年記念式典・祝賀会	市民文化会館・タスパークホテル	
12月22日	山形県公益認定等審議会立ち入り検査	長井商工会議所 会議室	
12月27日	置賜4JC理事長・専務会 新旧	高島町 エビスヤ	

公益社団法人長井青年会議所 2016年度 組織図

■は常任理事
◆は理事
◇は副委員長
○は幹事
※は兼任



ひとつづくり委員会 事業報告書

●担当副理事長 大竹貴之 ●委員長 佐藤和之 ●副委員長 山口康幸 ●幹事 川合直仁
●委員 那須丈雄 ●委員 井上真 ●委員 飯澤喜治 ●委員 鈴木香澄

委員長所感

今年はまさに嵐のように過ぎ去った 1 年間であります。2 月には雪灯り回廊まつりにおいて、最上川沿いの河川敷に灯りを灯し、5 月には JC 杯 (春季)、7 月のながい寺子屋 (夏の塾)、8 月の納涼パーティー、9 月のながい寺子屋 (秋の塾)、10 月の食育講演会、11 月の JC 杯 (秋季) と様々な事業を行いました。まさに粉骨砕身、常に新しいことにチャレンジし、参加者の方々に気づきの場を設けることはもちろんのこと、それを担う我々 JC メンバーにおける気づきや事業に参加する楽しさをもてるよう事業を構築してまいりました。特に私のライフワークともいえる”食育”の活動を JC 事業として実施できたことは井上理事長、大竹担当副理事長をはじめとするメンバーの皆様のご理解とご協力のおかげだと思っております。誠にありがとうございました。また、西置賜地区の各小中学校様、長井市教育委員会様、長井市まちづくり青少年育成市民会議様、長井市 PTA 連合会様、長井市学校給食共同調理場様、べにばなレジェンド様、小野料理教室小野紀代子様、最上川リバーツーリズムネットワーク様、九州大学比良松道一様、竹内太郎様など多くの皆様のご支援、ご協力をもって事業が成功裏に終わりましたこと、改めて感謝申し上げます委員長所感といたします。

第 25 回 JC 杯中学野球大会 (春季)

事業名：第 25 回 JC 杯中学野球大会 (春季)

担当委員会名：ひとつづくり委員会

委員長氏名：佐藤和之

1. 事業概要

24 年間継続してきた JC 杯中学野球大会を中学生が日々の練習の成果を発揮する貴重な経験の場と考え、この実戦の場を通して、練習の成果を確認しつつ、新たに自らの課題を見出し、さらにその課題に対して目標を持って取り組んでいくことが大切となると考えました。また、共に試合に参加していくことで仲間とのコミュニケーションを深める絶好の機会にもなり、対戦相手との関係性を保っていく社会性を身に付けていくことが

できます。こういった場が成長期の中学生には必要と考え、西置賜地域の中学校 5 校に参加を呼びかけ、学校対抗のトーナメント戦を行いました。メンバーの試合に対する参加意欲を高めるため、フォトコンテストの実施、MVP、MIP 賞を設け、メンバー間で選考を実施しました。

2. 実施日時：5 月 3 日 (火)、4 日 (水)

3. 実施場所・会場：飯豊町営球場

4. 事業対象者

長井市、西置賜地域の野球部所属の中学生

5. 参加者募集方法

長井市、西置賜地域の中学校へ文書で案内

6. 決算総額：57,088 円

7. 参加員数

◆内部

5/3：担当委員会：6 名

その他メンバー：8 名

5/4：担当委員会：5 名

その他メンバー：9 名

◆外部 (参加生徒数)

長井南中学校：17 名

長井北中学校：16 名

白鷹中学校：20 名

飯豊中学校：15 名

小国中学校：13 名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人長井青年会議所

〔共催〕長井市野球連盟

〔協力〕西置賜地区中体連

〔主管〕西置賜地区中学校体育連盟野球専門部

〔協賛〕榊末広スクール・スポーツ部門

9. 実施プログラム

5月3日(火)

- 6:00 飯豊会場にて天候判断し、本日開催決定
- 7:30 メンバー集合
- 7:35 メンバー内説明会
- 7:40 運営責任者にあいさつ
監督会議・開会式の案内、会場運営確認
参加校顧問にあいさつ
参加料受領、監督会議と開会式案内
審判員にあいさつ
監督会議と開会式の案内、弁当準備の確認
- 8:00 監督会議
- 8:10 開会式(司会:川合)
選手整列
開会の言葉:青年会議所樋口副理事長
トロフィー返還:前回優勝校・大会会長 → 前回優勝校がトロフィーを忘れたため、割愛
主催者挨拶:青年会議所井上理事長
大会副会長挨拶:長井北中梅津校長先生
審判長挨拶:渡部審判長
選手宣誓:代表校(白鷹中学校)
注意事項連絡・閉会の言葉:運営責任者(長井南中顧問)
- 8:30 シートロック(各7分)
- 8:55 始球式
青年会議所井上理事長
- 9:00 第1試合開始 小国中 2 - 9 白鷹中
- 11:00 第2試合開始 飯豊中 3 - 2 長井北中
- 11:15 弁当配布
- 14:00 準決勝開始 飯豊中 5 - 4 長井南中
- 16:00 2日目集合時間の確認
会場一時撤収(施設等の確認、備品の確認)
グラウンド担当学校顧問に挨拶

5月4日(日)

- 6:00 飯豊会場にて天候判断し、小雨だが、通常通り開催することを確認。
- 7:30 メンバー集合
- 8:00 雨脚が強くなり、グラウンド状況も悪くなったため開始時間を遅らせることを決定。
- 9:00 天気予報を確認し、14時に試合開始となるよう準備することを確認。
メンバーは一時帰宅し、再度13時に集合とした。
- 13:00 メンバー集合し、グラウンド整備、試合準備
- 14:00 決勝戦開始 白鷹中 1 - 2 飯豊中
- 13:00 閉会式(司会:山口副委員長)
選手整列
開会の言葉:青年会議所大竹副理事長
結果発表:司会
トロフィー授与:優勝校・飯豊中学校、準優勝校・白鷹中学校
MVP賞:飯豊中学校 寒河江俊介君
MIP賞:白鷹中学校 大類優希君
講評:青年会議所井上理事長
- 会場撤収(施設等確認)
グラウンド担当学校事務室にあいさつ

フォトコンテスト結果: 応募総数12点(4名) **大賞:那須文雄くん**
応募作品を誰が撮ったかわからない状態で委員会で審査。上記を大賞とした。

10. 引き継ぎ事項

- ・学校との打合せは、人事異動前と人事異動後の2回実施することで、先生との連絡体制を密に取っておくと当日の運営がスムーズ。
- ・審判長への連絡を早めに取り、審判員の確保を行うこと。
- ・選手名を記載したパンフレットを保護者様向けにも配ったが好評だったため継続して欲しい。
- ・試合の結果だけでなく、進行状況(各回の点数表示)も大きく表示できるよう準備すると試合を見に来ている人はうれしい。
- ・試合中の給水は主催者の役目であるため、継続して欲しい。
- ・予備日を設定し日程を組んでいるが、よほどの大雨でない限り予定通りの日程で行いたいと学校側は考えているため、当日

柔軟に対応できるよう準備すること。

11. 各担当者所見

◆委員長

多くのメンバーの皆様に参加、協力いただいたことで無事成功裏に大会を終えることができたこと、心より感謝申し上げます。試合中の給水やストライクボールの表示、試合記録並びに試合時間の変更など主催側の果たすべき役割を滞りなく全うできたことは、多くのメンバーの皆様の協力があったことだと改めて感じます。ありがとうございました。中学生の一生懸命に白球を追う姿は過去の自らの姿を邂逅し、このような環境で野球をさせてもらっていたこと、その当時の大人達にも感謝しました。閉会式の後、球児たちから御礼を言われた時、この大会の運営に携われたことを嬉しく思ったのと同時に、中体連前の貴重な公式戦であるこの大会を必要としている人がいることを改めて認識しました。是非、次年度以降もこのJC杯中学野球大会を継続して欲しいと願い、担当委員長所見といたします。

◆担当副理事長

連休中の大変貴重な時間を多くのメンバーにご参加、ご協力いただきましたこと心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今年度は、2日目の天候不順により、続行、中止の判断がとて難しく、学校側との対話やメンバーの皆様との連絡調整など様々な対応が必要とされ、非常に段取り、情報収集、連絡調整の大切さを実感する事の出来る事業であったと感じました。

第25回JC杯中学野球大会(秋季)

事業名: 第25回JC杯中学野球大会(秋季の部)

担当委員会名: ひとつづくり委員会

委員長氏名: 佐藤和之

1. 事業概要

24年間継続してきたJC杯中学野球大会1年生の部は、近年、各中学校の野球部員の減少により中学1年生のみのチーム構成での開催は難しく、比較的事実経験の少ない部員で開催されてきました。本大会は事実経験の少ない部員が対外試合に臨むことができる数少ない実戦の場であり、貴重な経験の場です。この実戦の場を通して、自らの課題に早期に気付いていくことや、その課題に対して目標を持って取り組んでいくことができ、

また、共に試合に参加していくことで仲間とのコミュニケーションを深める絶好の機会となると考えました。しかしながら、学校側と協議を重ねた結果、1年生だけで試合を行える学校が5校中3校あり、飯豊中学校と長井北中学校合同チーム結成することにより1年生のみでのチーム編成が可能という結論に至り、今大会は1年生主体の大会にし、参加校実質4校で、トーナメント形式で行いました。

2. 実施日時：11月6日（日）

3. 実施場所・会場：飯豊町営球場

4. 事業対象者

西置賜地域の中学校野球部に所属する、中学1年生 5. 参

5. 加者募集方法

長井市、西置賜地域のすべての中学校5校に案内を送付した。・子ども育成会連絡協議会に参加を呼びかけました。

6. 決算総額：43,000円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(6名)、その他メンバー：(11名)

◆外部

長井北・飯豊中学校：11名、長井南中学校：11名、白鷹中学校：9名、小国中学校：9名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕 長井市野球協会

〔協力〕 西置賜地区中体連

西置賜地区中学校体育連盟野球専門部

〔協賛〕 スポーツ品ミヤカワ

9. 実施プログラム

11月6日(日)

6:00 飯豊会場にて天候判断

7:30 メンバー集合

7:35 メンバー内会議

7:40 運営責任者にあいさつ

監督会議・開会式の案内、弁当準備の確認

参加校顧問にあいさつ

監督会議と開会式案内

審判員にあいさつ

監督会議と開会式の案内、弁当準備の確認

8:00 監督会議

8:10 開会式

司会：山口副委員長

選手整列

主催者挨拶：青年会議所 井上理事長

大会副会長挨拶：長井北中梅津校長先生

審判長挨拶：渡部審判長

選手宣誓：代表校(長井北中学校)

8:25 始球式

青年会議所 井上理事長

8:40 第1試合開始 白鷹中 4 対 2 飯豊中・長井北中

10:20 第2試合開始 長井南中 12 対 0 小国中

11:15 弁当配布

12:00 3位決定戦 飯豊中・長井北中 11 対 1 小国中

13:30 決勝戦 長井南 10 対 4 白鷹中

15:30 閉会式

司会：山口副委員長

選手整列

結果発表：司会

賞状授与：優勝校：長井南中、準優勝校：白鷹中

講評：渡部審判長

会場撤収

グラウンド担当学校、参加校顧問に挨拶

10. 引き継ぎ事項

・春大会終了後に日程の調整を行ったが、学校側の都合で11月に開催が延期した。11月だと運動するには寒いので、また、会場使用においても通常考えられないケース（電源が使用できない）が想定されるため、10月開催で調整すべき。

・審判長への連絡を早めに取り、審判員の確保を行うこと。

・新入生が少ないため、一年生大会の開催が危ぶまれたが、複数学校の連合チームで開催するなどやりようはある。むしろ本大会の目的となる子どもたちの健全な成長のためには、他チームの選手とのコミュニケーションや、声を出すことの重要性など他の大会では経験できない貴重な経験ができる場を提供できると考える。

・役割、担当などを事前配信し、作業を明確にするとともに、参加するとメンバーにとっても楽しい時間を過ごしていただけることをご認識いただくと多くのメンバーの参加をいただけたと感じた。

・主審を全試合、審判協会から出せたのは良かったので継続していただきたい。

・今年度は、資料、案内文等手渡しで行うことができたが、次年度以降も通信費は予算計上した方がよい。

・井上理事長には筆ペン練習等、ご苦勞をかけてしまいました。甲斐あって心のこもった賞状をお渡しできたため、次年度以降も継続して欲しい。

・学校側からは一年生大会の必要性を感じる趣旨の話を受けているため、学校側と協議の上、開催可否を判断すること。

11. 各担当者所見

◆委員長：佐藤和之

多くのメンバーの皆様に参加、協力いただいたことで無事成功裏に大会を終えることができたこと、心より感謝申し上げます。少しの時間でもと会場に顔を出していただけることは担当委員長として非常に嬉しいことですし、JCの三信条の一つである”友情”を育むいい機会であると感じました。また、開閉会式の時にはJCメンバーが運営者として学校、中学生、保護者の皆様に見られています。多くのメンバーが揃って会を取り仕切るこ

とは、参加者の皆様からの信頼と安心を得ることに繋がると考えます。地域に根差し活動する JC の姿を見ていただく良い機会ととらえ、次年度以降も多くのメンバーのもと大会が開催されることを祈念いたします。さて、本大会は春大会を経験したメンバーにとって、同様の設えを行う大会となります。そのため、事業を構築する。統括する。という経験が少ないメンバーにとって、自身の成長を助けるいい機会となると考えました。山口副委員長はこの機会を存分に生かし、自身で大会を成功させたいという気概を持って事業に取り組み、達成感や課題を得ることができたのではないかと思います。決まった事業をこなすのではなく、どんな事業にも新たな取り組みと目的意識を持って取り組むことが大事だと改めて認識させていただいたところです。さらに、秋大会は一年生主体の大会の開催が危ぶまれておりましたが、複数の学校で連合チームを作り試合に臨むことで、新たな気づきを生む良い機会となりました。他の大会では得ることのできない経験をできる貴重な大会でありますので、是非、次年度以降もこの JC 杯中学野球大会（秋季の部）を継続して欲しいと願い、担当委員長所見といたします。

◆担当副理事長：大竹貴之

先ずもって、大会当日ご参加頂きましたメンバーの皆様から感謝申し上げます。有難うございました。秋季の部も春季の部と同様に、今年のはっきりとした天候に恵まれることなく、ハラハラドキドキの気分を最後まで味わう大会だったと強く思うところがありました。結果としましては、決行する運びをとらしていただきましたが何事もなく無事成功裏に終えることができ、ほっと胸をなでおろす気持ちと、達成感に満ち溢れる機会をいただいたと実感しております。担当委員長の佐藤委員長の所見にも記された通り、少しの間の時間で申し訳ないと言いながら、自分自身の貴重な時間を割き、顔を出して頂きましたメンバー、持ちつ持たれつの精神を貴重とし運営を支えて頂きましたメンバー、改めて JC の 3 信条の素晴らしさに気づくことができたと思っておる次第です。そして、「感謝」に磨きがかかった。この大会を通して、ふと井上理事長の所信を思い返したところがありました。「子は親を映す鏡」、「自分以外は皆先生。」まさにその通りであり、自分自身においても成長の場であったと実感しております。また、JC 杯中学野球大会（秋季）に関しましては、部員の減少により、様々な視点から議論し名称の変わった継続事業でございます。次年度も様々な問題、課

題を余儀なくされるかと思いますが、球児においては貴重な大会であり、課題抽出の場でございますので、何を継続して、何を变えていかなければならないのかを大切に議論して頂き、結果に繋げていってほしいと思います。以上、簡単ではございますが担当副理事長所見といたします。

ながい寺子屋

事業名：ながい寺子屋 「弁当の日」体験塾

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：佐藤和之

1. 事業概要

学びの時間

- ・なぜ人は食べるのかを学びました。
- ・本（いのちをいただく）を通して、食の大切さを学び、弁当の日の取り組みを知る時間。一人一人感じたことを共有する時間を設けました。
- ・弁当の日体験塾で何を体験するのかを学びました。

買い物の時間

弁当を作る上で必要な買い物は子ども達のみで行い、自立性、社会性を育むため、買い物の仕方を体験しました。

体験の時間（調理）

弁当を作る上で必要な調理の仕方を実際に体験しました。調理は専門の先生により基礎的な技術を学びました。また、体験後に自分が作りたい弁当の絵を書くことで実践への足がかりとしました。

実践の時間（弁当の日）

子ども達が自ら作ってきた弁当を持って、地域で大切に守られている三淵溪谷（長井ダムボートツーリング）を参拝しました。その後、みんなで自分の弁当を披露し、みんなと弁当を褒め合い、一緒に食べ、一連の体験を通した感想文を書く時間を設けました。さらに5年後の自分へのタイムカプセルを作成し、事業の成果を将来へと繋げました。

2. 実施日時：7月23日(土)及び9月10日(土)

3. 実施場所・会場：平野地区公民館

合地沢湖面広場、まなび館

4. 事業対象者

主に、小学3年生～6年生を対象にしました。

5. 参加者募集方法

各小学校への参加募集のチラシの配布、広報誌を用いたより多くの人へ宣伝を行いました。

- ・市報への掲載依頼をしました。
- ・ホームページ、フェイスブックに掲載しました。

6. 決算総額：231,512 円

(子どもゆめ基金申請額：191,000 円)

7. 参加員数

夏の塾

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(16名)

◆外部 小学生：23名

秋の塾

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(10名)

◆外部 小学生：20名

8. 外部協力団体及び協力種別

[主催] 公益社団法人長井青年会議所

[後援] 長井市、長井市教育委員会

白鷹町教育委員会、飯豊町教育委員会

小国町教育委員会

9. 実施プログラム

7月23日(土曜日): 8:15	集合
08:30~08:45	開会式
08:45~09:00	あいうべ体操(アイズブレイク) ※あいうべ体操:インフルエンザ予防などに有効とされる口体操。 <u>あいうべ体操とは?</u> <u>各時間割り詳細(アイズブレイク)</u>
09:00~10:00	学びの時間 なぜ人は食べるのか、本:いのちをいただく プロジェクターに投影して、子供たちに食の大切さを伝える時間。 クイズを通して、郷土料理の勉強。食材の勉強。 <u>各時間割り詳細(学びの時間)</u>
10:10~11:00	体験の時間(買い物) リーダーを6年生にして、基本子供たちだけで買い物をした。 付き添いの大人は買い物する際の食材の選び方を教えた。 <u>各時間割り詳細(買い物)</u>
11:00~12:30	体験の時間(調理) 作るものは全員一緒にして、調理について学んだ。 作るものは専門家の先生に相談して決めた。(あくまで洗う、切る、 剥く、焼く、煮る等料理に必要な手順を体験できることを主眼とした。) <u>各時間割り詳細(調理)</u>
12:40~13:10	昼食
13:20~14:20	友達時間(遊びの時間) 昔遊び:けん玉体験、寺子屋版長井のギネス縮小版に挑戦!! <u>各時間割り詳細(友達)</u>
14:30~15:30	自分が作りたい弁当の絵の作成(秋の実践に向けてイメージを持つ) 調理体験で作ったものを一品は入れるよう書いてもらいました。 調理体験の際のレベルを見て、次回作ってくるもののイメージを 広げました。(レベル高:自由な弁当、レベル中:書くもののヒントを出す、 レベル小:おにぎり) <u>各時間割り詳細(弁当の絵)</u>
15:40	閉会式
16:00	解散

9月10日(土曜日): 8:30	集合
08:45~9:00	開会式
09:00~09:15	卯の花姫学習
09:30~10:00	車移動(まなび館集合→長井ダム合地沢湖面広場)
10:00~11:00	ボートに乗って長井ダム湖にある三洲渓谷を参拝 (9:00~11:30) 残ったメンバーは芋煮を作って待った。
11:30~12:30	弁当お披露目会
12:30~13:30	昼食(昼食終わりに遊びの時間を設けた)
13:30~14:30	感想文作成
14:30~15:30	タイムカプセル(5年後の自分へ)
15:40~16:00	閉会式
16:20	解散

10. 引き継ぎ事項

- ・アンケートにいただいているように、調理体験などの食の要素を組み入れることは保護者の希望として多い。
- ・移動の際にメンバーの車を利用する場合には、保護者への文書に記載すること。
- ・子どもゆめ基金について、11月申請となるため、日的に厳しいが、この時期に事業の骨格を決めておくとの後の事業の進め方が楽になるし、事業費を確保できる。特に講師料については事業認可を受けやすい。また、事業の変更についても融通が利くため、活用できる場合は積極的に活用すべき補助金と思う。
- ・アンケートより、自然体験、学習体験、ボランティア、農作業、キャンプ体験などが今回参加した親御さんの体験させたい事業であった。
- ・多くのスタッフで参加者をお迎えすることが、親御さんがお子さんを預けることへの安心感に繋がる。
- ・調理体験をする場合は、以後の時間に余裕を持って開催すべき。

・参加者募集について学校チラシが、一番効果が高く、続いて口コミが効果的。

・アンケートは、子どもからは事業内での感想文、親御さんからは家庭内での子どもからの話をお聞きするといろんな話を引き出せる印象を受けた。帰ってから子どもにアンケートを書いてもらっても内容が薄い。

・9月、10月の事業開催は小学校の運動会と重なる可能性があるため、日程調整が重要となる。

11. 各担当者所見

◆委員長：佐藤 和之

多くのメンバーの皆様に参加、協力いただいたことで無事成功裏に事業を終えることができたこと、心より感謝申し上げます。この事業はメンバーの皆様にも子どもと一緒に体験していただき楽しんでいただくことで、子どもたちも大人の背中を見て、気づきが得られると考え、実施しました。皆さんにそれを

よく理解していただき、積極的に参加いただけたことで子どもたちの気づきに繋がり、メンバーの皆様の気づきに繋がったことを大変嬉しく思います。ありがとうございました。さらに、この事業の後、子どもたちの親御さんや、メンバーの皆様からこの事業を機に「弁当を作るようになった。」「食事を作るようになった。」「少しでも食に気を使うようになった」など変化の声が開いてきたことが何よりの成果だと思っております。食は、誰もが主役です。食を楽しみ、食べ物や作ってくれる人に感謝し、それを次世代の子どもたちに伝承していけば、思いやりのある、生きる力のある人が育ち、やがて我がまちを牽引する人になり、まちづくりに繋がると思っています。今後も何らかの形で食に関わりをもつ”ながい寺子屋”であり、引き続き長井西置賜地域の子どもの健全な育成に寄与する事業として継続されることを願い、担当委員長所見といたします。

◆担当副理事長：大竹 貴之

はじめに、貴重な時間を2部構成で行った当事業にご参加、ご協力頂きましたメンバーの皆様には心から感謝申し上げます。この事業におきましては、対象者が子どもということもあり、委員会の中でも、あらゆることを想定し事業の構築に励んでいただいております。甲斐あって、大きな事故もなく、成功裏に終わることが出来たのではと考えておるところで御座います。大人は大人の気づきがあり、子ども達は子ども達の気づきがあり楽しむことができ、また、有意義な事業であったのではないかとアンケート集計より思うところで御座います。今年度のながい寺子屋に関しましては、食育を題材として事業を構築してきましたが題材が変わっても基本のベースは変わらないものであってほしいと考えるところで御座います。私達大人も、日常生活の中で日々成長し、変化していつているものかと思えます。その中で、当たり前のこととして捉えて大切な気概を失っているように感じる場合があります。私達の住み暮らす地域の未来が輝き続けるには、子ども達に伝える、教えるではなく、共に接することが大事なのだと実感したところです。共に接することで、大人達は思いやりの心、感謝することを再認識する機会となり、子ども達は親が普段していることの大変さに気づき手伝えることを覚え、感謝することの大切さを持つことが出来ると思えます。今後も、日頃忘れがちになっている何気ない部分に視点を合わせて果敢に議論していつほしいと心から願い簡単ではございますが担当副理事長所見といたします。

「食育」をテーマにした講演会

事業名：「食育」をテーマにした講演会

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：佐藤和之

1. 事業概要

食に関する講演会を通して、子どもの生活習慣の改善の中で「食」に焦点を当て保護者の気づきを育む事業。

(1) 長井市教育委員会、長井市PTA連合会、長井市まちづくり青少年育成市民会議と連携して課題を抽出し、それに見合った講演となるよう検討することで、課題に向き合い、真摯に取り組む事業としました。

(2) 報告書を作成し、気づきの度合いを文書化して見える化しました。

(3) 食による生活習慣改善に関する専門家による講演会を実施しました。

(4) ながい寺子屋での子ども達の実践体験を発表する場を設けることで、身近な体験を保護者に知ってもらう場としました。

2. 実施日時：10月20日(木)

3. 実施場所・会場：長井市置賜生涯学習プラザ
(舞と音楽ホール)

4. 事業対象者

長井市・西置賜地域の大人を対象としました。

5. 参加者募集方法

各小学校への参加募集のチラシの配布、ラジオ、広報誌などを用いたより多くの人へ・区域全小学校の全児童にチラシを配布。

- ・子ども育成会連絡協議会に参加を呼びかけました。
- ・西置賜各市町の主要施設にポスターを掲示しました。
- ・市報・町報への掲載依頼をしました。
- ・ホームページ、フェイスブックに掲載しました。
- ・テレビに出演し、参加を呼びかけました。

6. 決算総額：488,897円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(13名)

◆外部

共催団体、一般来場者：237名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕長井市 PTA 連合会

長井市まちづくり青少年育成市民会議

〔後援〕長井市、飯豊町教育委員会

白鷹町教育委員会、小国町教育委員会

〔協力〕一般財団法人山形県学校給食会

株式会社ニッコトラスト

9. 実施プログラム

10月20日(木)

14:00	講師アテンド@赤湯駅
15:30	講師会場入り、打合せ:佐藤委員長
16:30	メンバー集合 座席準備開始、会場設営:メンバー全員
17:00	リハーサル:山口副委員長、川合、井上、那須、齋藤事務局長、講師、パネリスト、佐藤委員長 メンバー打合せ
17:30	講師、パネリスト打合せ:佐藤委員長
17:45	託児先生の受付:梅津専務理事
17:45	来賓受付、アテンド:井上理事長、大竹副理事長 託児所の準備:小笠原副議長、大泉、教育委員会四益さん 駐車場案内:小林副委員長、遠藤、齋藤副議長、教育委員会佐原さん
18:00	受付開始 一般受付:齋藤議長、小関副議長、教育委員会平山さん PTA受付:PTA代表5名 来場者アテンド:鈴木監事、樋口副理事長
18:30	開会 司会:川合 理事長挨拶:井上理事長 共催団体挨拶:長井市まちづくり青少年育成市民会議会長 安達英一様 講師:比良松進一先生入場 講師紹介:司会
18:40	講演開始
19:50	講演終了
19:55	パネルディスカッション パネリストによる地域の活動、課題の紹介(5分×3人) 長井市PTA連合会、長井市まちづくり青少年育成市民会議 平みわ様 長井小学校 栄養教諭 山口薫様 長井青年会議所 ひとづくり委員会委員長 佐藤和之君 九州大学大学院 竹内太郎様とコーディネーターの比良松先生を加え、ディスカッション
20:45	パネルディスカッション終了 質疑応答(特になし) パネリスト退場
20:50	謝辞、記念品贈呈:市教育委員会:横山賢一教育参事 講師退場
21:00	閉会 アンケート記入・回収
21:30	ノースト。撤収を本格的に開始。講師アテンド@タスポークホテル
22:00	撤収終了

10. 引き継ぎ事項

・教育委員会、PTA 連合会、長井市まちづくり青少年育成市民会議と共催で開催する場合は、予定者段階から複数回打合せを重ね、11月頭の市の予算計画のときに次年度事業に盛り込んでもらえるよう調整が必要となる。

・上記に関連して、各団体ともそれぞれの事業を持っている中でその予算を JC の事業に出していただいている。各団体の事業目的と合致させる必要があり、そのため、多くの関係者と会い、調整が重要。うまく調整できれば、予算段階より協力費用の増額も見込める。

・上記に関連して、調整は大変だが、多くの参加者を見込める団体のため、事業目的達成のためにここに時間を割くべき。

・この度は講演のみではなく、パネルディスカッションを行い、

地域の活動の声を聴いていただいた。講演のみとなるといい話だけど、身近に感じない場合もあるかと思うが、地域の活動の紹介はより身近に感じることができたとの声があったため、いい手法といえる。

・講演前に共催団体、パネリスト予定者、講師を呼んで、講演内容について打合せを行った。地域の団体と協力して実施する際には 講演準備の各段階で打合せを行うことが地域と協力した事業に繋がる。実際、打合せの中で、給食調理場から学校給食を紹介するブースを出展したいとの依頼があり、講演会事業に厚みが増した。

・講演会実施の日程は、会場や PTA 関係、講師の都合のもと決めなくてはならないため、3 か月以上前に調整するべき。

・講演を録音する場合、プロジェクターの側、PC の側で行うと、ファンの音を広い聞きづらいため離しておくべき。

11. 各担当者所見

◆委員長：佐藤和之

多くのメンバーの皆様に参加、協力いただいたことで無事成功裏に講演会を終えることができたこと、心より感謝申し上げます。当日は講演会場に入らずに、自らの仕事を全うしていただいた皆様も、会場内で見守ってくださった皆様も、皆様のおかげで1年かけて実施してきた食育の事業の集大成を大盛況で終えることができました。改めて、ありがとうございました。この度、取り上げた「弁当の日」は私が食育に目覚めたきっかけであり、この実践をしたいと思い、委員長を引き受けたといっても過言でないものです。子どもにも大人にも、地域にもまちづくりにも使えるこの「弁当の日」の取り組みは、地域、学校、行政等多くの人を巻き込んで行うことで、より大きな成果を生む取り組みだと思います。JC の講演会事業はその多くの人を巻き込んで行うことのできる良い機会で、この機会を与えてくださった井上理事長、大竹副理事長をはじめとする理事の皆様、並びにメンバーの皆様にも再度感謝を申し上げ、担当委員長所見といたします。

◆担当副理事長：大竹貴之

準備段階より、多くの理事メンバー、メンバーの皆様にご協力またご参加頂き無事成功裏に事業を終えることができたこと心より深く感謝申し上げます。大変お世話になりました。

今年度のひとづくり委員会の事業は、ながい寺子屋夏、秋、そ

してこの講演会を最後とし、3つで1つの事業として構築して参りました。正直に、一つも落とすことができないといった見えない重圧は非常に精神的に辛いものがありました。が、準備段階より、多くの地域の皆様との対話、ご協力また、理事メンバーの皆様のご協力の御陰を持ちまして、目的を達成することができたこと、改めて感謝申し上げるしだい御座います。また、予定者の段階より、佐藤委員長の強い想いを組みご協力頂きました井上理事長におかれましては、多忙な日程にも関わらず時間をささご協力いただきまして大変頭が下がる思いで一杯でございます。その甲斐あってか、様々な地域の団体の皆様にご支援頂くことができ当初予定していた内容を凌駕する形で事業ができたと感じております。この事業をとおして、改めて熱心に人を思う気持ちの大切さ、そして、支えることの大事さを学ぶことが出来たと感じております。そして、やっと思感を与えることができ、波紋のように広がっていくことが見えてきたと実感するところでございます。今後も、様々な視点から問題を抽出し考え、そして、様々な方より情報を頂き事業を構築し、事業を展開して行って頂きたいと願いはなはだ簡単ではございますが担当副理事長所見といたします。

納涼パーティー

事業名：納涼パーティー
 担当委員会名：ひとづくり委員会
 委員長氏名：佐藤和之

1. 事業概要

JC 活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深める貴重な親睦の場となる納涼パーティーとして開催しました。会員減少が課題となっている JC において、諸先輩方の経験に基づく貴重なお話を聞くことにより会員拡大に役立てることができるまたない機会になると考えました。JC 活動の多くの素晴らしさを知る諸先輩方と懇親を深めることで、JC の魅力や楽しさを改めて認識し、今後のまちづくりの活力となるふれあいの機会とし、参加者全員が楽しめるようなアトラクションを計画しました。

2. 実施日時：2016年8月24日(水) 19時30分～

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

4. 事業対象者

長井青年会議所メンバー、OB

5. 参加者募集方法

文書で案内

6. 決算総額：0円

7. 参加員数

8. 外部協力団体及び協力種別

◆内部

担当委員会：5名、その他メンバー：19名

◆外部(参加数)

長井青年会議所 OB：12人

9. 実施プログラム

19時30分：開会 司会：井上真

19時35分：理事長挨拶 井上典嗣理事長

19時40分：長井JC OB会長挨拶 大竹薫先輩

19時45分：乾杯 板垣直前理事長

19時50分：2016活動内容 紹介

現在まで実施した事業、これからやる事業(広報誌に載る事業)をプロジェクターを用いて紹介した。

20時00分：次年度役員紹介 次年度専務理事候補者

次年度役員が登壇し次年度理事長挨拶をした。

20時35分：アトラクション「格付けチェック」(~21:00)

21時05分：若い我ら 大竹副理事長

21時15分：中締め 飯田武志先輩

21時20分：閉会の挨拶

21時25分：メンバーお見送り

10. 引き継ぎ事項

・納涼パーティー担当、総会担当、OB 主催ゴルフコンペ窓口で開催前に打ち合わせを行うことで、案内、会場準備、予算についてスムーズに実施できる。

・OB の先輩方と話す時間は十分にとったほうが良い。その際に、若いメンバーには行くように促すことも必要。

・予算は会費で賄うため、予算案を立てる際、実績から予算案と立てたほうが良い。参加者を多く見積もって予算を組むとアトラクション等での予算が十分に確保できなくなる危険性がある。

・格付けチェックのアトラクションは好評を得たため、次年度も継続実施してもよいと思うが、ほかのアトラクションを検討する場合でも①全員が参加できる ②わかりやすい ③会話が生まれる ことを念頭に置いて実施すると一つのコミュニケーションツールとして実施できるかと思う。

11. 各担当者所見

◆委員長

多くのメンバーの皆様に参加、協力いただいたことで無事盛會に終えることができたこと、心より感謝申し上げます。納涼パーティーは OB の先輩方とお会いできる数少ない機会であること、メンバーの皆様が忙しい最中、貴重な時間を割いて参加す

ることを念頭におき、楽しめることを第一に、何かしらの気づきがあることを第二に考え実施しました。そのため、事業紹介PVでは今年度の事業を短い時間でメンバーの皆さんの活動が顔の見える形で表現できるよう工夫をしました。アトラクションでは例年実施したことが無く、全員が前のめりに参加できるものと委員会一同で知恵を絞りました。このことにより納涼パーティを”やらなければならないもの”から”参加を楽しみにできるもの”にできたと実感しています。是非、次年度以降も楽しい納涼パーティを企画していただき、楽しいから人が集まるパーティとして多くの皆さんとの交流の場を紡ぎ出し、会話を通して気づきを生むものとして実施して欲しいと願い、担当委員長所見といたします。

◆担当副理事長

納涼パーティー当日は、多くのJCメンバーの皆様にご参加、ご協力頂きまして心から感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度は、パーティー前段で総会を100%例会にするため行動することを覚悟した玉橋総務局長の思いと、OBの先輩の皆様とお会いできる数少ない機会、会費を皆様から頂いて設営するのだから皆様が有意義で楽しめる機会にしたいといった佐藤委員長をはじめとする委員会メンバーの思いが正しい方向に相乗効果を生み出されたのではと感じます。アトラクション、演出に関しましては、今までの演出とは違う新しいものを取り入れていくこと、OBの皆様はどんな思いで、納涼パーティーに、出席しているのか？様々な視点から考え見えない部分についてもとても苦勞がありました。そういった甲斐あって、ちょっとしたミス等はあったものの皆様から楽しかったの声を頂けたのは委員会メンバー一同心から嬉しく、感謝するところでした。

次年度以降も是非、やると決めたら最後まで委員会メンバー丸となって有意義な時間を過ごされるよう企画して頂きたいです。必ず、企画設営する側としても様々な気づきえられると思いますので是非すばらしい企画演出を期待しております。以上簡単ではございますが担当副理事長所見といたします。

まちみらい委員会 事業報告書

- 担当副理事長 樋口和哉 ●委員長 船山裕紀 ●副委員長 小林和正
●幹事 遠藤浩樹 ●委員 影山孝史 ●委員 中川一聖 ●委員 遠藤穰一
●委員 吉川明紀

委員長所感

まず初めに、1年間当委員会の事業に対するご理解、多大なるご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。私たちはこの1年、まちのみらいを想い多くの事業を行って参りました。みんなで防災対応力向上例会、長井駅周辺整備事業、地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯、夢授業、クリスマスパーティー、全ての事業で新たな発見があり、ここでしか得ることの出来ない多くの学びがありました。

井上丸の乗組員として出港した1年前、私自身初めて経験させていただくことばかりで期待と不安で一杯でした。右も左も分からず手探り状態だったのにも関わらず、助け合い支え合う地域づくりという目的を共有し、想いを共に歩んでくださった委員会メンバーの皆様には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

みんなで防災対応力向上例会

事業名：3月例会みんなで防災対応力向上例会

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山裕紀

1. 事業概要

地域防災力とも云える県行政と連携した山形ブロック協議会とLOMとの関わりや、この地域での災害においてLOMがどの様に機能するかを明確にする事業でした。LOMとして災害時を疑似体験する内容とする為に、事前アンケートを実施しました。

そして、対話協働の機会を多く作り先輩諸兄や他団体の方との協力のもと、災害時模擬シミュレーションや、オールメンバーで防災力向上に繋げるために作成したグループワークを実施しました。

2. 実施日時：3月17日（木） 19:00～

3. 実施場所・会場：長井市置賜生涯学習プラザ

2F 洋研修室

4. 事業対象者

長井青年会議所メンバー及び長井市、白鷹町社会福祉協議会
防災担当者（長井2名、白鷹1名）

5. 参加者募集方法

例会案内文をメール配信した。社会福祉協議会担当者訪問及び長井市社協荒井様から2月9日に行われた会議で日時、内容を周知していただいた。

6. 決算総額：2,755円

7. 参加員数 22名

◆内部

担当委員会：7名、その他メンバー：13名

◆外部

長井市社会福祉協議会 2名（荒井信毅 高橋芳彦）

白鷹町社会福祉協議会 1名（金田睦美）

8. 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕長井市社会福祉協議会、白鷹町社会福祉協議会

9. 実施プログラム

- 19:00～ 例会セレモニー
19:20～ 開会のあいさつ
19:22～ 趣旨説明
19:25～ 長井JCとして、LOMの防災組織体制の確認（JC手帳や今年度版防災組織図を用いて）
1. 災害時におけるJCの役割についての説明（まちみらい委員会より）
19:30～ 2. 災害ボランティアセンターについて（社協より）
19:55～ 3. LOMとしての組織体制の説明（まちみらい委員会より）

20:15～ 災害時シミュレーション模擬体験
《アイスブレイク 災害伝言ゲーム》
20:45 会場時間の都合上、以下部分を割愛した。
4. メンバーの位置関係を確認・西置賜で災害が起きた場合のシミュレーションを行う
4-1. 平常時、会場を使って位置関係を明確にする
終了後 災害想定内容を発表
シミュレーション終了

20:46～ 各社会福祉協議会より長井JCメンバーにアドバイス、メッセージ
20:50 閉会のあいさつ
20:58 例会セレモニー 監事講評
21:20 撤収完了

10. 引き継ぎ事項

・社会福祉協議会様との繋がりを継続して下さい。行政主導の防災プログラムへの参加推進

・防災プログラム（行政・社協・団体）への参加推進を行ってください。

・継続した事業でメンバーアンケートを用い検証となる場合、防災力の向上を事業実施上の問題点だけでなく、前向きなリアクション、良かった点を含め事業報告に記載いただきたい。

1 1. 各担当者所見

◆委員長

防災対応力向上例会に長井市・白鷹町社会福祉協議会さま、たくさんのメンバーの皆さまにご参加いただき例会を開催することが出来ました。参加者全員がコミュニケーションをとり合い防災についての事業を行えたことを嬉しく思います。改めてこういった取り組みを隣組や地域レベルで持続して行えるよう私たちが道標となり進めていかなくてはいけないと感じました。参加していただきました皆さまありがとうございました。

◆担当副理事長

今年度の防災についての例会を長井市、白鷹町の社会福祉協議会様、そして多くのメンバーと共に開催出来たことに感謝申し上げます。計画段階から様々な意見を頂戴した中で、主務の影山君、船山委員長を中心に計画し、実施当日は時間配分に甘い部分もありましたが、実施内容やアンケートからも、参加されたメンバーそれぞれの防災に対する意識の維持・向上につながったと感じます。また、例会後1ヶ月も経たないうちに熊本県を中心とする大きな地震が発生し、各地に甚大な被害を及ぼしている状況で、改めて災害に対する備えをしっかりとしなければと感じた次第です。私たちに災害の無いまちをつくることは出来ませんが、災害に強いまちづくりは出来ると信じておりますので、これからも防災に対する意識と顔の見えるつながりを大切にして行動することが必要と感じます。参加された皆様ありがとうございました。

長井駅周辺整備事業

事業名：5月例会 長井駅周辺整備事業

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山裕紀

1. 事業概要

長井駅の花壇植栽と駅周辺の整備を実施した。花壇には、雑草に強い性質を持ち、5月～11月の間花を咲かせるメランポジウムを植栽し、同時に壁画や周辺の状態を確認し、保全を行った。

2. 実施日時：5月19日（木） 18時～18時30分

3. 実施場所・会場：長井駅プラットホーム向壁画周辺 及び 主に花壇

4. 事業対象者：青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：メール配信、LINE等

6. 決算総額：9,008円

7. 参加員数：17名

◆内部

担当委員会：(4名)、その他メンバー：(14名)

◆外部：0名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕山形鉄道

9. 実施プログラム.

【計画】	【実施】
5月16日	
15:00～	15:00～ 委員会メンバーに協力を仰ぎ 堆肥の散布、耕運作業、雑草除去作業を行う
5月21日	
17:00	17:45 委員会メンバー集合、打ち合わせ
18:00	18:00 メンバー集合 例会セレモニー
18:15	18:05 作業内容説明
18:20	18:20 作業開始
19:30	18:50 作業終了
20:00	19:00 会員交流 桃華樓にて
10月15日	
18:00～	10:00～ 除草作業
11月18日	
18:00	16:00 撤収作業開始
19:00	16:30 作業終了

10. 引き継ぎ事項

・事前準備の作業も事業当日に行っても良いのではと感じました。人数にもよりますが、10人で2時間程と思います。

・メンバーへの協力のアナウンスをしっかりと行い、定期的に除草作業を行ってください。特に、水まつりや長井おどり等のイベント時には、良好な景観が保てるよう整備活動を行ってください。

・除草対策の除草剤のタイプがいろいろあるので、一番適したものを選んでください。

・例年、板垣洋一君に耕運機と運搬用の軽トラックをお借りしています。

1 1. 各担当者所見

◆委員長

事業実施にあたりご協力くださいました皆様、誠にありがとうございました。良好な景観の保全を図ることを目的に行った事業でありましたが、植栽後の手入れが行き届かず気がつけば雑草が生い茂り草刈りを行うなど、事後管理に関して後手に回ってしまいました。植栽後も作業日を決め良好な景観の保全をしっかりと図っていくべきと感じます。

◆担当副理事長

まずは事前準備から当日まで参加協力していただいた皆様に感

謝申し上げます。今年度は「長井駅周辺の良好な景観の保全と形成を図る。」を事業目的として、植栽までは計画通りにいきましたが、その後の管理の部分が行き届かず、定期的な管理はもちろんのこと市内イベント開催前に慌てて除草作業を行うなど、管理を軽視した部分がありましたので、次年度以降実施する場合はメンバーの協力をいただきながら計画通りに維持管理していただければと思います。

みんなで灯そう夢灯

事業名：地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山裕紀

1. 事業概要

地域全体として協働・対話を行い、助け合い支え合いながら、子どもたちの夢や願いを思いやりを持ってサポートしていきたいとの思いから、今年の「みんなで灯そう 夢灯」のテーマは「思いやり」としました。

長井市内の子ども達や地域住民の夢や願いを描いたランタンをあやめまつり開催期間中にあやめ公園に設置点灯を行いました。

本事業の予算についてはあやめ委員会様より助成を頂くこともあり、あやめまつり委員会様との打合せを密に行い、多くの方々とのしっかりとした協力体制を築き事業運営を行いました。

「あやめ公園開催」

あやめまつり開催に合わせ、園内に市内小学生が夢・願いを描いた小型ランタン、市内の中高生が描いた大型ランタンを設置点灯します。出し物やイベントなどについては、当委員会として企画運営するのではなく、あやめまつり委員会様で用意されるイベントをサポートするとともに、ランタンの点灯、掲示、当日ランタン作成の声掛けやサポートに注力した。呼び水としてのイベントを並列して行うのではなく、『長井市を代表する歴史あるあやめ公園に、今を生きる子供たちが描いた夢や願いを灯す』というとても素敵な事業を純粋にしっかりと実施した。

2. 実施日時：6月11日(土)、6月18日(土)

3. 実施場所・会場：長井市あやめ公園

4. 事業対象者 西置賜地域、及び近隣地域の児童

一般の方

5. 参加者募集方法 チラシ、ポスターの配布。市報・町報・ホ

ームページ・facebook への掲載や協力団体のホームページ・ラジオ出演。

6. 決算総額：¥1,678,944

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(18名)

◆外部 協力団体：21名、一般来場者：2293名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔後援〕長井市、長井市教育委員会、長井市観光協会

〔協力〕長井市内小中学校、長井市青年団体連絡協議会、ぼくらの文案実行委員会、西根地区公民館

9. 実施プログラム

6月11日	
7:00	※天候不良時、理事長、副理事長、委員長で判断した。
7:30	委員会メンバー集合 大型ランタン・企業協賛ランタン搬入
8:00	JCメンバー集合 (事務局)
10:00	JCメンバー集合 (全体) 打合せ、本部テント設置、企業協賛ランタン設置開始
13:00	ボランティアスタッフ集合、説明 (本部テント) 当日ランタン制作コーナー開始 ~19:07 ランタン設置 ~16:12 レイアウト・ランタン設置図 (※黒べこまつり実行委員会主催 高台にて黒べこまつり開催 ~15:00) ※昨年度よりランタン設置数が少ない分残りの時間で 子どもたちが描いたひとつひとつの夢や願いをご覧いただいた
16:30	ランタン点灯セレモニー (あやめ会館前広場)
16:45	ランタン点灯
20:30	ランタン片付け開始
21:30	完全撤収
6月18日	
14:00	委員会メンバー集合
15:00	メンバー集合 (※あやめまつり実行委員会主催 カラオケ大会、利酒大会、ビアガーデン) 既成大型ランタン(10基)・既成小型ランタン(200基)搬入・打合せ
15:30	設置開始 (※既成大型・小型ランタンは主にあやめ会館前に設置した。)
16:20	設置完了
16:30	点灯開始 (※地域総合戦略室主担当 竹あかり開催 ランタン点灯)
20:30	片付け開始
21:30	完全撤収

10. 引き継ぎ事項

長井 JC 継続事業でありながら、担当委員会に依存するところが多い部分もあるので他メンバーから協力を得ながら進めてください。

準備時の作業場所や一時保管場所、運搬方法など、継続事業であるならば明確に決定すべきかと思う。

ランタン用紙記入を各クラス授業で行うため、そもそも開催を知らない保護者の方がまだまだ多い。どう知らせていくかを考えるべき。中学校、高校での大型ランタン作成に差異がある。特に長井北中・長井高校・長井工業では一部生徒に負担がかかっており早急に改善すべき。長井工業の美術担当の先生から4校の担当教諭で集まり協議すべきとのお話をいただいた。

ランタンについて、屋根と本体をペアもしくは、ナンバーリングするとわかりやすい。

企業看板を現地で組み立てできるようすれば、持ち運びも楽だし、置き場所も減らせるのでは。

大型ランタンも高さバラバラなので統一して作りなおしてはどうか。

風間書店さん倉庫の備品リストを作成した方が良さそう。

ランタン用紙の管理を紛失等問題が起こらないように慎重にすべき。

点灯式について、時間前に来賓の控える席と開式時に座る椅子とを別に用意するとスムーズかとおもいます。

大型ランタンについて、事前準備で取り外すことを前提に作業する必要があった、接着位置などを揃え回収しやすい説明が必要。

引率の先生との当日内容に関してもっとコミュニケーションをとっておくべきだった。

協賛報告はJC LINE でなく、グループを分けてすべきだった。ランタン配置の際にクラス単位での区画を事前に作成したほうがいい。

火の扱いに慣れない高校生ボランティアも多く、当日ランタン作成や本部補助をお願いしたほうが良い。

交流がしっかりと図れるようスタッフの休憩場所を一緒にすべきだった。

火傷をしないようにチャッカマンを長くすべき。火の取り扱いには十分に注意する。

テレビなど報道関係にも広く案内すべきだった。

1.1. 各担当者所見

◆委員長

まずは夢灯に携わりご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。委員長として関わらせていただきました今年度の夢灯を通じ、長きに渡りまちの灯を絶やさず継続されてきました諸先輩方の想いを改めて感じ、また、当事業を支えてくださった地域の皆様のサポートや、事業当日ランタンを見つめながら子ども達に寄り添う家族の姿から、地域の皆様の思いやりの心を強く感じる事ができました。思いやりの心が郷土愛の醸成や地域コミュニティの活性化に繋がっていくものと思います。ありがとうございました。

◆担当副理事長

準備段階から当日まで参加協力いただきました多くの皆様にご心より感謝申し上げます。今年度は「思いやり」という開催テ-

マの下、しっかりと子ども達の夢や願いをサポート出来たと感じましたし、予算の面でも助成金をいただくことができ、この地域にとって価値ある事業のひとつとして認められている事業に成長したと感じます。この夢灯事業を通して得たつながりを大切にして今後もまちづくりの輪を広げていくことが重要と考えます。次年度以降の夢灯もわくわくするような事業を期待しまして私の所見させていただきます。ありがとうございました。

みんなで灯そう夢灯 夢授業

事業名：地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」夢授業

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山裕紀

1. 事業概要

2013年度からPDF化してきたデータを集約し、年度・男女別にグラフ化したものをよりわかりやすい形で残しました。また、長井市5商店街で行っている「種守プロジェクト」と連携し関心の高い職業に携わる商店主を講師に招き子ども達や保護者を対象にした授業(ワークショップ)を開催しました。

「夢や願いをサポートする夢授業の開催」

長井市内の様々な活動をしている方々や市内出身者を講師にお迎えし、子ども達や保護者向けに様々な職業のワークショップを展開、地域全体として子ども達の夢や願いを共有し、楽しくサポートしていくイメージを持つことを目的とした。外へ外へと目を向けがちだが、市内にも様々な職業で活躍している方がおり、接点を作り出すことで世代間の交流が生まれ、それこそが心豊かなまちづくりへと発展していくものだと考えた。

※「種守プロジェクト」とは

長井市5商店街が商店街の垣根を越え学び合うことで地域全体の活性化や商店街の振興にも繋げていこうという取り組み。

各商店主が月に1回講師になり、商店街でワークショップを開催しています。

夢授業講師

梅津拓也氏 (ミュージシャン)、加藤健太郎氏 (一級建築士/冒険家)、横山敬生氏 (お花屋)、鈴木英明氏 (お菓子屋)、村上滋郎氏 (アーティスト)、池田将友氏 (小説家)、高石仁光 (おらんだラジオ)各授業は参加料無料。

「夢授業」

集約したデータを元に関心の高い職業に携わる方を講師に招き子ども達や保護者を対象にした授業を開催します。また、開催地である僕らの文楽会場内にランタン用紙をつなぎ合わせたものを作成し掲示します。市内最大のイベントとのタイアップにより、多くの人の目に触れる機会が作れること、自分たちの夢や願いの前で、様々な演出が行われることで喜びや感動の記憶となり、夢を実現させる原動力を与えた。

2. 実施日時：9月25日

3. 実施場所・会場：長井市西根地区公民館及び
市民西根体育館

4. 事業対象者 西置賜地域、及び近隣地域の児童・
一般の方

5. 参加者募集方法 チラシ、ポスターの配布。市報・町報
ホームページ・facebook への掲載や協力団体のホームペー
ジ・ラジオ出演。

6. 決算総額：¥747,438

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(7名)

◆外部

協力団体：(21名)、一般来場者：(103名)

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人長井青年会議所

〔後援〕ぼくらの文楽実行委員会

〔協力〕西根地区公民館

9. 実施プログラム

9月25日

7:00 委員会メンバー集合(打ち合わせ、プロジェクターなど搬入、セッティング)

9:00 メンバー集合(打ち合わせ)

第一会議室タイムテーブル

9:30 担当打合せ、会場準備
11:00 加藤健太郎さん 世界を旅した建築家講演開始
12:00 加藤健太郎さん 世界を旅した建築家講演終了
12:10 片付け開始

12:00 担当打合せ、会場準備
12:40 午後授業セッティング完了
13:00 梅津拓也さん ミュージシャンになるために講演
14:30 梅津拓也さん ミュージシャンになるために講演
15:00 片付け終了

第二会議室タイムテーブル

10:00 担当打合せ、会場準備
10:30 横山敬生先生 お花教室開始
12:00 横山敬生先生 お花教室終了
12:10 片付け開始

12:00 担当打合せ、会場準備
12:40 午後授業セッティング完了
13:03 村上先生、池田先生 あむあむワークショップ
15:00 村上先生、池田先生 あむあむワークショップ
15:30 片付け開始
16:00 片付け終了

会場全体にて

9:00 担当打合せ、会場準備
10:00 おらんだラジオ先生 番組制作フィールドワーク
15:00 おらんだラジオ先生 番組制作フィールドワーク
15:10 片付け開始
16:00 片付け終了
16:30 完全撤収、メンバー解散

2F調理室タイムテーブル

9:30 担当打合せ、会場準備
10:00 鈴木英明さん お菓子教室開始
12:00 鈴木英明さん お菓子教室終了
12:30 片付け開始、会場準備
13:00 鈴木英明さん お菓子教室開始
14:30 鈴木英明さん お菓子教室終了
14:45 片付け開始
15:00 片付け終了

10. 引き継ぎ事項

小学生向けの職場体験が少なくぜひ継続して開催してほしいと教育委員会より。

講師の方との打ち合わせを失礼ないように、綿密に行う。参加者の方への服装などの連絡が遅くなってしまったため、早めの連絡を心がけたほうがいい。

広報方法をポスターやチラシだけでなく、行事にお邪魔するなどして直接お伝えする場を設けられるとなお良い。

一人でも多くの協力者が必要だと感じた。

室内での行事の場合履きの持参が必須。

当日飛び入り参加の方への対応が遅れてしまった。

11. 各担当者所見

◆委員長

今年度新たな試みとして子ども達が夢灯で描いた夢や願いの解析を行い、集まったデータを元に長井市内の商店主さまを中心に講師にお迎えし、こども向けのワークショップ「夢授業」を開催させていただきました。新しいチャレンジにも関わらずご協力いただきました講師の皆さまをはじめご参加ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。小学生を対象にした職業体験が少ない中、実際に夢に触れる機会が作れたと感じましたし、地域全体で一歩を踏み出すサポートが出来たように感じました。

◆担当副理事長

今年度、夢灯事業のひとつとして「夢授業」という新たな手法で事業を実施させていただきました。長井市内で活動している方々や、市内出身者を講師としてそれぞれの職業についてのワークショップを開催することが出来て、本当に良かったと感じています。参加された子ども達や親御さんにとっては夢を持つことの大切さや夢をサポートする意識が高まったと感じます。改めて、夢灯に限らずひとつ一つの事業は多くの皆様の協力のお陰で実施出来ているのだと改めて感じました。今年度の夢灯を通して得たつながりを今後も大切にしまちづくり真剣に取り組む同志を一人でも多く創出し、この地域を共に輝かせていくことが重要です。準備段階から実施当日まで御力添えを賜りました地域の皆様、講師の皆様、他団体の皆様、JCメンバーに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

小国町公開討論会

事業名：小国町公開討論会

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山裕紀

1. 事業概要

各町町長選においてマニフェスト（政策提言）型の公開討論会を開催

小国町町長 任期満了日：2016.7.27

告示日 22日 投票日 28日

2. 実施日時：7月19、20、21日のいずれか

3. 実施場所・会場：おぐに総合開発センター

集会室

4. 事業対象者：立候補予定者、有権者

長井青年会議所メンバー

5. 参加募集方法

6. 決算総額：0円

7. 参加員数

8. 外部協力団体及び協力種別

9. 実施プログラム

実施出来ず。

10. 引き継ぎ事項

前回の長井市長選挙公開討論会より

・公開討論会開催の警備依頼書ではなく公安委員会宛の集会届のみ提出を行う。

・公平中立な立場から当人や代表者を呼んでの説明、返答会なども考えられる。

・〇〇市長選挙公開討論会、〇〇町長選挙公開討論会と明記することは選挙管理委員会

から公職選挙法で良いとは言えない、グレーであるという意見をいただいた。

・開催日について、市報、町報掲載が極力可能な日程を選択するのが望ましい。

・チラシや告知方法で選挙管理委員会に随時相談し意見交換をすることが望ましい。

11. 各担当者所見

◆委員長

より多くの町民の皆様に関心を持っていただき、自分たちの町のみらいについて考える機会を作るべく準備しておりま

した公開討論会でしたが、公平中立の立場でありながら一方の候補者と接触してしまったため中止となってしまいました。今後はしっかりと情報を精査しより慎重に準備すべきと感じました。開催とは至りませんでしたがお協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

◆担当副理事長

当委員会の年間事業計画のひとつとして考えていた公開討論会ですが、公平中立の立場で準備を進めなければいけないところ、事前準備段階の際に一方の候補者と接触したという事を後々気付いたため、双方の事務所に開催中止を伝える事態となってしまい討論会開催を断念しました。今後開催を検討する際は公平中立を守り、十分に注意していただければと思います。準備の際にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

クリスマスパーティー

事業名：クリスマスパーティー

担当委員会名：まちみらい委員会

委員長氏名：船山 裕紀

1. 事業概要

家族やメンバー皆が楽しめるボードゲーム、ビンゴゲームを行いました。ビンゴゲームは全員にボードゲームが当たるように配慮。子ども達にはお菓子とケーキをプレゼントしました。

2. 実施日時：2016年12月18日（日）

15時～18時

3. 実施場所・会場

長井市本町 桑島記念館

4. 事業対象者

長井青年会議所メンバー及びその家族

5. 参加者募集方法

メール配信、LINE、声掛け等。

6. 決算総額：¥0

7. 参加員数 27

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(11名)

◆外部

メンバーの家族 9名

8. 外部協力団体及び協力種別

9. 実施プログラム

【クリスマスパーティープログラム】

- 13:00 ①委員会メンバー集合
- 14:30 ②受付開始
- 15:05 ③クリスマスパーティー開会、理事長あいさつ
- 15:10 ④年間活動報告スライドショー
- 15:18 ⑤アトラクションⅠボードゲーム
- 17:25 ⑥アトラクションⅡビンゴゲーム
(1世帯につきカード1枚・景品1個)

- 17:50 片付け・閉会
- 18:00 終了

それぞれの開催場所について

【①、②玄関前】 【③、④、⑥2階会場】 【⑤1階&2階会場】

10. 引き継ぎ事項

事業の目的が「交流」であって、必ずしもクリスマス縛りにする必要はないように感じる。

今回はボードゲームをメインに皆で大変楽しめましたが、こういった場合例えば事業名を「ボードゲーム・パーティー」にする等、内容によってパーティー名が変わってもいいのではないかと思います。

肝心なのは交流を図り親睦を深めることなので、運営側も皆で楽しめるような事業にしていいただければと思います。

11. 各担当者所見

◆委員長 船山 裕紀

まず始めにクリスマスパーティーにご協力していただきました皆様、年末のお忙しい中ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。2016年最後の事業として長井青年会議所一年間の活動映像をご覧ください私たちが歩んできた一年間を振り返りました。その後ボードゲームやビンゴゲームを行い、参加した皆が笑顔で溢れる心温まる事業となりましたことを大変嬉しく思います。これを機に家族や仲間での集いが増えることを期待し所見とさせていただきます。

◆担当副理事長

長井JCの最終事業として開催させていただきましたクリスマスパーティーにご多用の中ご出席いただきました、ご家族の皆様、メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。本年の事業は会場選定から吟味し、事業内容も話題となったボードゲームを取り入れ、中川君を主担当として準備段階から当日までしっかりと事業に向き合った結果、当日は会場内にたくさんの笑顔があふれていたのが印象的でした。改めて、私達が一年間無事に活動出来たのは職場や何よりも家族の理解、協力のお陰だこの事業を通して実感しました。次年度以降も家族と一緒に集える楽しい機会を期待するとともにひとつひとつの事業に対して

楽しく真剣に取り組んで参りたいと思います。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

未来創造会議 事業報告書

●議長 齋藤繁喜 ●副議長 小笠原信吾 ●副議長 小関幸一 ●副議長 齋藤憲幸
●議員 大竹貴之 ●議員 樋口和哉

議長所感

今年度の未来創造会議は、会員拡大運動、人財育成事業、新入会員の育成・サポートと3本柱で事業を展開してまいりました。まずは、井上理事長をはじめとするメンバーの皆様には多くのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。

会員拡大運動については、なかなか思うように成果を出す事が出来ず、残念な結果となりました。今後、公開例会や事業など入会候補者がオブザーブしやすい環境を整え、青年会議所を身近に感じていただく機会を数多く設けることで、さらなる拡大へと繋げていけるのではないかと感じております。また、今年度は新入会員の育成とサポートに注力し、事業を通してJCとは何ぞやという入口のところから、会員同士のふれあいも生まれとても良かったのではないかと感じております。人財育成セミナーについては、近年では長井・西置賜管内の企業様からの認知度も向上し、経営者の方から若い社員さんまで幅広く参加いただける事業へと成長しております。今年度も70名でのセミナー開催が出来、今後まだまだ参加員数を増やせる期待もありますので、新入会員候補者の開拓も含めて継続的に開催して欲しいと思います。最後に、一年間ともに活動をしてくださいました未来創造会議メンバーの皆様、本当にお世話になりました。誠にありがとうございました。

人財事業育成事業

事業名：人財育成事業

担当委員会名：未来創造会議

副議長氏名：小関幸一

1. 事業概要

2016年度は人財育成事業として、ブランディング入門セミナーを開催いたしました。ブランディングは、他社との差別化を図り、高付加価値を手にする、また顧客から会社に対する共感や信頼などの価値を高めていく為のマーケティング戦略です。会社や商品に対し、ブランドとして認知されていないものをブランドへと育て上げる、あるいはブランド構成要素を強化し活

性化していく手法を学びました。限られた時間のため、入門編として「ブランドとは何だろう？」実際のブランディングに取り組む前の予備知識を得ることが重点的な内容でした。

しかしながら、本事業を通じ、自社の潜在的な可能性を発見し、会社の発展に寄与できる能力を養うことができました。そして、会社を成長させる事で、地域の成長に繋がり地域の成長がこの国の成長に繋がっている事を認識し、次代を担う青年経済人としての能力を高めていただく機会といたしました。

2. 実施日時：4月21日（木）

14時30分～16時30分

3. 実施場所・会場

タスパークホテル 3階アイリス

4. 事業対象者

会員および、主に地域の青年

5. 参加者募集方法

- ・ホームページでの告知
- ・Facebookでの告知とイベント機能を活用した情報発信
- ・チラシ配布
- ・メンバーによる勧誘
- ・関係諸団体への案内

6. 決算総額：250,000円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：6名

その他メンバー：14名

◆外部

講師1名、参加者50名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人長井青年会議所

〔後援〕長井商工会議所

長井市青年団体連絡協議会

9. 実施プログラム

時 分	
8 56	講師東京出発
11 14	講師赤湯駅到着・迎え(齋藤議長・小関副議長)
12 0	講師会場到着
12 5	講師打ち合わせ(齋藤議長・小関副議長)
13 0	会議体集合
13 15	講師会場確認
13 45	メンバー集合
50	例会セレモニー(開会)
14 0	受付開始
14 30	開会
31	理事長あいさつ
40	講師入場・講師紹介
14 45	セミナー開始
16 15	セミナー終了
17	謝辞・記念品贈呈(鈴木監事)
23	集合写真撮影
28	アンケート記載
30	閉会
40	例会セレモニー(閉会)
17 0	異業種交流会(講師も参加しました)
19 0	講師送り(小関幸一の自家用車)
40	講師、赤湯駅より山形新幹線乗車

10. 引き継ぎ事項

- ・司会アナウンスのタイミングなど、早め早めに行うなど、参加者が戸惑わない工夫が必要であった。
- ・今回、基礎の入門編だったので、応用編もあるのかという要望があった。
- ・定員 50 名の参加者のハードルが若干高く、当日ギリギリまでバタバタし、参加費と定員のバランスも考慮する必要がある。
- ・最後まで何事もあきらめないことで、皆さんで力を合わせればやり切れることが実感した。何事も一日一日の積み重ねが大事。
- ・交流会への参加者増の工夫が必要であった。

11. 各担当者所見

◆副議長

この度は、定員 50 名という少しハードルを上げての開催でありました。当日まで定員まで届くかどうかというギリギリのなかメンバー・会議体の皆様には、特に集客面でご心配とご協力を頂き満員での開催に至ることができました。本当にありがとうございます。1 カ月半くらい前から広報を行い、新入会員候補者を中心に直接足を運んでご案内致しました。今回を機に一通り、候補者の方には声掛けが行え、ご挨拶ができたのは、今後入会に向けた活動として、前向きな取組だったと思います。セミナーの内容は、平時の日中の時間が限られている中で、ブランディング構築の基本的な部分を中心に、ブランドとは何か?という事を様々な事例から知識を得ることができ、今後、自分・会社・地域が成長するべく活用できるヒントが沢山あったと感じております。お忙しい中、時間調整頂き参加頂きました参加

者の皆様、ブランド・マネージャー認定協会様、秋葉先生、メンバー・会議体の皆様には、繰り返しになりますが、本当にありがとうございました。

◆議長

平日の日中開催のセミナーですが、本当に多くの皆様のご参加をいただき、開催できました事に対し心より感謝と御礼を申し上げます。未来創造会議小関副議長を筆頭に、当初より目標としておりました一般参加者 50 名の集客を達成できたことは、私自身、心が震えるほど感動をいたしました。本年は、ブランディングをテーマとして開催しました人財育成事業でございますが、今回セミナーのご案内をしていて感じたこととしまして、長井青年会議所で毎年人財育成の事業を行っていることへのイメージが少しずつ地域の中小企業様に定着してきていることであります。昨年よりも今年、今年よりも来年と、長井・西置賜を中心とした青年がより多く集う機会として、会員拡大へのきっかけとなる機会として、人財育成セミナーは次年度以降も継続いただきたいと強く希望いたします。ありがとうございました。

会員拡大運動

事業名：会員拡大運動

担当委員会名：未来創造会議

議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業概要

会員拡大マニュアルの再構築ないしパンフレットの作成の検討

- ・全メンバーに対し、匿名アンケートを行いました。
- ・アンケート結果を集計・分析し、JC活動の利点と問題点を抽出。会員拡大マニュアル及びパンフレットに反映させました。

異業種交流会の開催

- ・平成28年4月21日(木)に行いました。

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場：異業種交流会

タスパークホテル誰主?来主?(4月21日)

4. 事業対象者：メンバーおよび入会候補者

5. 参加者募集方法：メール、LINE、フェイスブック

6. 決算総額：30,000 円

7. 参加員数(交流会)

◆内部

担当委員会：(6名)、その他メンバー：(8名)

◆外部

新入会員候補者等：(11名)

8. 協力団体及び協力種別 なし

9. 実施プログラム

4月21日(木)

異業種交流会

4月21日開催の人材育成セミナー終了後に参加者との親睦を深める機会として異業種交流会を開催し、入会候補者となる人材の発掘を行いました。

異業種交流会会場：タスパークホテル 9F タスクス

司会進行：小笠原副議長

17:00 開会

17:02 主催者代表挨拶 井上理事長

17:07 乾杯 板垣直前理事長

17:40 自己紹介タイム

18:30 中締め 鈴木監事

10. 引き継ぎ事項

・平成の若者は失敗を恐れる世代です。青年会議所内に点在する不文律を知らず、失敗して辞められるL OMもあります。また、青年会議所はメンバーは運動部出身者に向くなどの意見も聞きます。ターゲットニングの再考が必要かもしれません。

・拡大対象の裾野を広げること、青年会議所運動全体の活動量を減らすことは有機的なつながりがあるように思います。

・拡大方程式は、頭数を増やすには適するそうです。しかしながら、入会後が続かないので、拡大方程式を利用する場合には、その後のフォローアップ体制を整備し充実させる必要があると考えられます。

11. 各担当者所見

◆議長

はじめに、年間を通して、井上理事長をはじめとするメンバーの皆様には会員拡大に取り組んでいただき誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。会員拡大は、メンバー一人ひとりが拡大の担当者である意識を持っていただくことから運動がスタートするものと思っております。年々、メンバー数が減少しており拡大も大変厳しい状況であります、青年会議所運動の原点である拡大運動に今後もしっかりと向き合っていかなければなりません。入会パンフレットについては、予定者段階で審議をいただき、新年度すぐに活用できるよう準備をする必要があると感じました。拡大関連のツールは、早めの準備を心掛けるようにしていきたいものです。未来創造会議として、拡大については大きな成果を残すことができず無念ですが、引き続き JAYCEE として JC の魅力を語り、仲間創りに取り組んでまいりたいと思います。皆様のご協力ありがとうございます

ございました。

◆担当副議長

本年度は拡大事業を担当し、また、山形ブロック協議会内の拡大担当会議にも出向させていただきました。本年度を通して感じたことは、拡大は単なる勧誘ではなく、組織全体の仕組み作りを踏まえた上での勧誘なのだったということでした。この人が入会したとして、この組織でやっていけるのか。修練の名の下に無理を押しつけることとならないか。もし無理が生じた場合、この人を変えるべきか、組織を変えるべきか、との迷いが生じます。そのような迷いなき拡大は、組織への悪評を招きます。

また、会員サポート事業とも重なりますが、とりあえず人を集め、修練の名の下に事業と責任を押しつけ焼き畑農業のように使いつぶしてしまえば、それはブラック企業と同じことです。青年会議所はそのような団体ではないはずで、月1回、例会日に集まってなんか楽しいことしようぜ、という団体のはずです。そのような原点を踏まえた上で、残るJC活動を全うしていきたいと思います。このような機会を与えてもらったことに感謝したいと思います。

新入会員の育成・指導

事業名：新入会員育成・サポート

担当委員会名：未来創造会議

副議長氏名：齋藤憲幸

1. 事業概要

<会員の育成>

JAYCEE として必要な知識を学ぶ講習会を年3回実施。第1回では入会年数の少ないメンバーを JC 歴の長いメンバーの方や理事経験者がサポートしながら会員交流事業を立案し議案書を作成、その議案書を使い疑似委員会を行う。第2回では作成した議案書を使いロールプレイング理事会を行い、理事を模擬体験しました。第3回では、2016年度入会した新入会員と仮会員に向けた JC についてのセミナーを開催しました。また、2017年度の各委員会・会議体からの事業発表を行いました。

<新入会員のサポート>

新入会員の方には、1名以上のサポート役を付ける「サポート制度」を設けました。

また、現役メンバーにもアンケート調査を行いサポートを付け

て欲しいと思っている会員、会議体でサポートが必要と判断した会員も対象としました。

JC 歴の長いメンバーのサポート（指導）と JC 歴の浅いメンバーによるお互いに声を掛け合うような形のサポートの 2 種類を使い分け、アンケート調査結果から適していると思われるサポートを行いました。

2. 実施日時

第 1 回講習会 7 月 11 日 19 時～20 時

第 2 回講習会 9 月 16 日 19 時 10 分～20 時 10 分

第 3 回講習会 12 月 12 日（月） 19 時～20 時 10 分

3. 実施場所・会場

第 1 回 長井商工会議所 研修室

第 2 回 白鷹町文化交流センターあゆ〜む

第 3 回 はぎ苑

4. 事業対象者 長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法

電子メール、LINE 等 SNS、電話

6. 決算総額：¥10,000

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(6 名)、その他メンバー：(22 名)

8. 外部協力団体及び協力種別

9. 実施プログラム

7月11日 第1回講習会

19:00 開始
19:01 理事長挨拶
19:06 趣旨説明
19:10 議案書作成
19:45 委員会
20:00 終了

9月16日 第2回講習会

※次年度理事長所信発表例会の前

19:00 例会セレモニー
19:10 趣旨説明(ルール説明)
19:15 ロールプレイング理事会開始
19:20 ロバート議事法について説明
19:25 協議事項
20:05 多数決
20:10 終了

12月12日 第3回講習会

19:00 例会セレモニー(15分)
19:15 開始(司会:小関副議長)
19:16 趣旨説明(2分 齋藤副議長)
19:18 セミナー(15分)
19:33 次年度事業発表
19:34 まちみらい委員会(5分)
19:39 質疑応答(1分)
19:40 夢灯特別会議(5分)
19:45 質疑応答(2分)
19:47 事務局(5分) ※2017組織図についても説明
19:52 質疑応答(1分)
19:53 次年度理事長予定者挨拶(5分) 樋口次年度理事長予定者
19:58 例会セレモニー
20:04 監事講評
20:10 終了

10. 引き継ぎ事項

・もっと新入会員の目線で知りたいこと、分からないことをリサーチするべきである。

・事業計画に甘さがあった。相手の立場で考えることが必要。

・新入会員・仮会員については推薦者に声掛けてしっかりアテンドしてもらうべきである。

11. 各担当者所見

◆副議長：齋藤憲幸

まずは、ご協力いただいたメンバーの皆様、参加していただいたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

今年は、新入会員の育成・サポートということで年 3 回の講習会を計画させていただきました。第 1 回目と 2 回目については私自身もっと改善できる部分が多くあったと感じております。もっと細かなところまで目を配り、新入会員の立場に立って考えることが足りなかったと反省しております。第 3 回につきましては、私自身の JC での体験の話をさせていただきました。言葉だけで伝えるという経験をさせていただき大変勉強になりました。この一年で様々な経験をして様々な気づきをいただきました。そのような気づきの機会をいただけたことに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

◆議長：齋藤繁喜

入会 3 年未満のメンバーを中心とした育成・サポート事業への皆様からのご理解とご協力を頂戴できました事に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。県内 17 LOM を考えても、入会 3 年未満のメンバーの割合が非常に多いですし、若いメンバーが LOM をはじめ、山形ブロック協議会の委員長を経験されている現状から、今後も委員会の進め方や理事会での上程の仕方、ルールを学ぶ機会が重要であると強く感じております。本事業では、事業立案から理事会のロールプレイングを通して、雰囲気や流れを少しでも掴んでいただけたのではないかと思います。齋藤副議長を筆頭に、未来創造会議メンバーもいい経験をさせていただきましたので、次年度以降もこのような機会を設けていただきたく心よりお願いを申し上げ、私の所見とさせていただきます。皆様からの多大なるご協力、誠にありがとうございました。

事務局・総務局 事業報告書

●専務理事 梅津壮一郎 ●事務局長 齋藤圭央 ●総務局長 玉橋恵子 ●財務局長 橋本一磨
●補佐 大泉紀也 ●補佐 渡部清隆 ●補佐 飯澤栄人

事務局長所感

「水は方円の器に随い、人は善悪の友に因る」、基本方針に書いた言葉を改めて振り返ると、ずいぶんと思いついたことを書いたなと思います。本来であればサポートする側にありながら、多くの方々に支えられてきた1年だったなと感じることが多く、只々感謝申し上げる次第であります。反省することも多くありましたが、多くの支えがあったからこそたくさんの「気付き」を得ることができ、一個人としても非常に実りある1年であったと思います。大きな変化の少ない事務局の事業でありながらも学ぶことは多く、真に理解して事業を行っていたかと振り返ると、知らないことの多さが目立ちます。創始の理念であったり、過去の担当者の思いであったり、今の形になった経緯であったり、多くを理解するには到底1年では足りませんでした。今後この役割を担うであろうメンバーにきちんと伝え、共に悩み、考えながら青年会議所が地域に必要とされる団体であり続けられるよう継続してサポートをしていきたいと思えます。

最後になりましたが、事務局メンバーはもちろん、理事長はじめ全メンバー皆様の御協力に改めて感謝を申し上げ、所感とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

総務局長所感

今年度、総務局長という大任を務めさせていただきありがとうございました。一年間の担いを全うできて安堵しております。また、自分なりの目標であったメンバー100%出席例会の達成や広報誌あゆみの市長対談を実施することができ大変嬉しく思っています。ご協力いただいたメンバーの皆様に感謝を申し上げます。

総務局は組織運営の支援役であり、表に立って事業を行っていく立場ではなかったのですが、長井JCを牽引していく理事長や委員長達の後ろで共に行動できた楽しい一年でした。しかし、今回運営側の立場となって、組織の在り方について課題を感じたことも事実です。JCとして守るべきものは守り、改善が必要な部分は慣例に囚われず変えていくことが必要ではない

かと感じました。次年度以降の運営に期待いたします。一年間ありがとうございました。

新春賀詞交歓会

事業名：新春賀詞交歓会

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤 圭央

1. 事業概要

これまで長井JCと関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2016年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを発信した。同時に、全てのJCメンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、JC活動への参画意欲向上を図った。また、それぞれの団体の方々やOBの方々との懇話を通して情報交換と懇親を深めていただき、今後のまちづくりの更なる協力体制を構築する機会とした。

2. 実施日時：1月14日（木） 18：30～

3. 実施場所・会場：（株）長井観光はぎ苑

4. 事業対象者

長井青年会議所メンバー・行政関係者

まちづくりに寄与する関係諸団体

長井青年会議所OB

5. 参加者募集方法

招待者リストを作成し、招待状を発送。

OB会には郵送で招待状を送付し、FAXで返信いただいた。

6. 決算総額：¥18,654

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：5名、その他メンバー：16名

◆外部

招待者（来賓）：13名

長井JCOB：15名

8. 外部協力団体及び協力種別

9. 実施プログラム

予定	実施		
18:00	18:00 受け付け開始		
	司会	事務局長	齋藤圭央
18:30	18:31 開会の挨拶	副理事長	大竹貴之
18:31	18:32 国歌斉唱		
18:33	18:33 JCソング斉唱		
18:35	18:35 JCIクリード唱和	副議長	小関幸一
18:36	18:36 JCIミッション並びにJCIヴィジョン唱和	副議長	小笠原信吾
18:37	18:37 JC宣言文朗読並びに綱領唱和	副議長	齋藤憲幸
18:38	18:38 東北JC宣言文唱和	委員長	佐藤和之
18:39	18:39 日本並びにLOMスローガン唱和	総務局長	玉橋恵子
18:40	18:40 理事長挨拶	理事長	井上典嗣
18:45	18:49 来賓紹介	専務理事	梅津壮一郎
18:48	18:54 来賓祝辞		・長井市副市長 遠藤健司様 ・長井JCIB会 飯田 武志 様
18:58	19:05 祝電披露		
19:00	19:07 2016年度理事役員の紹介		
19:05	19:11 2016年度基本方針、事業計画発表	各委員会の担当副理事長と専務理事により発表	
		・スクリーンを使用し発表する。各3分で計12分	
19:17	19:28 会場移動	※司会が案内	
		◇宴席を新館の後方のスペースで実施	
19:25	19:35 鏡開き		
19:30	19:43 乾杯		・長井市議副議長 五十嵐智洋様
20:20	20:23 新入会員紹介	専務理事	梅津壮一郎
		新入会員	小林和正君、大泉紀也君、吉川明紀君
20:30	20:35 スライド上映		
20:55	20:55 中締め		・長井市観光協会 副会長 齋藤裕之様
21:00	21:00 閉会の挨拶	副理事長	樋口和哉

10. 引き継ぎ事項

- ・開会の挨拶なのか、開式の挨拶なのかをはっきりさせて資料を作成すること。
- ・当日配布資料に組織図を入れてはどうか。
- ・リハーサルは並び方や動き等、細かいところまでしっかりと確認すること。当日も動きの確認は必要。
- ・理事長・直前の2次会への動き、メンバーの動きまで確認を行う。(食事の時間が必要か)
- ・大きな変化をつけず、例年通りのやり方が望ましい。
- ・スライドショー(昨年の事業の振り返り)の方法・必要性を検討。

11. 各担当者所見

◆事務局長 齋藤圭央

準備不足は否めないところであり、細かい配慮が出来ていなかった点がありましたが、当日は。大きな問題もなく、また、最終笑顔の絶えない会になり、まずはホッとしています。例年行っている事業であり、大きな変化こそありませんが、定例事業だからこそ必要なものであると再認識しました。年頭の忙しい中ではありますが、参加、ご協力いただいた多くのメンバーに感謝申し上げ、所見とさせていただきます。

◆専務理事

当日は大きなアクシデント等もなく、つつがなく事業を終えることが出来ました。井上理事長の挨拶や、各委員会からの事業紹介を通して、私達の今年度の方向性や決意を力強く発信でき

たのではないかと思います。「Stay Gold」の基本理念の下、全メンバーが一致団結し、輝き続けていく為にも、事務局がしっかり組織の下支えをしていかなければならないと強く感じました。

年頭のご多用のなか、参加・協力頂きましたメンバーの皆様にご感謝申し上げ、所見とさせていただきます。

山形ブロック協議会会長公式訪問例会

事業名：山形ブロック協議会会長公式訪問例会

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤 圭央

1. 事業概要

山形ブロック協議会会長の第4エリア公式訪問にあわせ例会を実施

- 実施日時：2月18日（木）19時～20時10分
- 実施場所・会場：タスパークホテル 2階
- 事業対象者：長井青年会議所メンバー
米沢JC、南陽JC、高島JC、山形BLC役員
- 参加者募集方法 メール配信
- 決算総額：0円
- 参加員数：99名
長井JC会員18名、山形BLC役員25名
置賜3JC会員56名)
- 外部協力団体及び協力種別
〔主催〕山形ブロック協議会

9. 実施プログラム

19:00	開会宣言
19:01	国歌斉唱
19:02	JCソング斉唱
19:03	JCIクリード唱和
19:04	JCI Mission 並びにJCI Vision唱和
19:05	JC宣言文並びに綱領唱和
19:06	東北JC宣言文唱和
19:07	スローガンアフメーション
19:08	会長挨拶
19:12	開催地LOM理事長挨拶
19:16	山形ブロック協議会 役員紹介
19:18	2016年度 日本青年会議所、東北地区協議会の事業内容について 2016年度 山形ブロック協議会の事業内容について
19:25	アカデミー委員会
19:31	ユニバーサルデザイン確立委員会
19:43	ブロック大会運営委員会
19:49	やまがた協働運動実践委員会
19:55	組織進化実践会議
20:01	総務委員会
20:07	質疑応答
20:10	閉会宣言

10. 引き継ぎ事項：

- ・検証方法の検討をお願いします

- ・参加率アップのために声掛けをお願いします。
- ・参加出来なかったメンバーにも知る機会が必要ではないか、検討していただきたい。

1 1. 各担当者所見：

◆事務局長

今年は長井が開催地ということで、多くの方にご協力いただき誠にありがとうございました。私事ですが、体調不良により最後まで参加することができず申し訳ありませんでした。初めて参加するメンバーも、毎年参加しているメンバーも、何かしら得るものがあつたと思います。今後もブロックと連携を図り、LOM・ブロックの各事業に取り組んでいきたいと思ひます。

◆専務理事

当日は、日本J C・東北地区協議会・山形ブロック協議会の基本方針や事業計画の説明をメンバー全員が真剣に聴き入っていました。ブロック役員・委員会出向者・出向していないメンバーと立場は違ひますが、今後展開される各事業に対して、メンバーが積極的に参画し、様々な学びを得られるよう、事務局として声掛けしていきたくと思ひます。

今回は第4エリアの開催地にも関わらず、参加者が思ふ様に集まりませんでした。4JC合同例会も長井JCが担当・開催地になりますので、もっと多くのメンバーに参集頂きたいと思ひます。

ながいOMOIYARIプロジェクト

事業名：ながいOMOIYARIプロジェクト

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤圭央

1. 事業概要

これまで、ゴミ拾いと花植えを通して行ってきましたが、参加者の中には高齢の方や花植えの為に参加する方も多くみられ、例年とは違ふ設えが必要であると思ひました。

今年は全行程の参加者と花植えからの参加者で時間をずらして集合し、スムーズな運営に取り組みました。長井市内に店舗を構える花屋さん（花ショップポピー、ムスメヤ花店、花の店文化園、花のササキ）に講師として参加いただき、花植えの際の進行をお願いしました。レイアウトや植え方の説明、花の名前の持つ意味など、花屋さん目線で植栽することで、例年以上に

愛着を持って取り組めると思ひます。昨年は水と緑に特化した内容であったが、今年は花に特化して行くことで、ふるさと長井が『水と緑と花のまち』であることを再認識することができる事業を行います。

さらに今年は OMOIYARI の心を育む内容として、河川緑地公園内のバスケットコートの白線引きを行います。中学生や高校生、親子連れなど、多くの方々が利用するコートですが、線の色が薄れ、見にくくなっています。市で定期的に補修は行っていますが、地域住民の手で行うことで更なる郷土愛の醸成を図ることができる事業になると思ひます。

2. 実施日時：6月19日（日）9時～10時40分

3. 実施場所・会場：最上川河川緑地公園

4. 事業対象者

長井市内の幼稚園、保育園、児童センター園児とその保護者。

市内の各企業や他団体、地域住民等の一般参加者

5. 参加者募集方法

長井市内の幼稚園、保育園、児童センター、各企業や他団体の方にチラシを配り周知する。一般参加者へ事業参加を促す方法として、市報やホームページ・facebook 等での告知をする。

6. 決算総額：¥41,676

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：4名その他メンバー：13名

◆外部

荘内銀行5名、山形銀行2名

きらやか銀行2名

あいおいニッセイ同和損保5名

計14名

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人 長井青年会議所

〔協力〕 長井市、長井花卉生産組合、めぐみ保育園

小桜幼稚園、荘内銀行、山形銀行

きらやか銀行、あいおいニッセイ同和損保

ムスメヤ花店、花のササキ、花の店文化園

花ショップポピー

9. 実施プログラム

事業開催スケジュール

実施	予定
8:00	8:00 事務局メンバー集合 受付設置
8:30	8:30 メンバー集合・順次受付開始
9:00	9:00 一般参加者集合(全行程参加者)
9:01	9:02 理事長あいさつ(井上理事長)
9:04	9:07 活動内容説明(齋藤事務局長)
9:07	9:10 花植え開始(メンバーは白線引きの準備を並行して行う)
9:45	10:00 花植え終了 写真撮影 花植えのみの参加者はアンケート記入
10:00	10:15 白線引き説明・開始 ・清掃とテープ張りは花植え時に行う
10:25	11:20 白線引き終了(乾くまでコート周りを囲い、立ち入り禁止)
10:30	11:25 受付にてアンケートを記入
10:40	11:30 完全撤収

7月27日 除草作業1回目

9月26日 除草作業2回目

10. 引き継ぎ事項

OMOIYARI とフラワーボランティアとの同時開催にするのかを検討してはどうか。

年度が替わる前に長井市に請求書を出さないと受理されないの
で注意すること。

ブロックからの議案書がないと事業計画書が作れないので早め
に連絡してもらおうように。

11. 各担当者所見

◆事務局長：齋藤圭央

今年も晴天に恵まれ開催できたことは何よりでした。参加員数
が少なく、物足りないところはありませんでしたが、参加者には楽し
んでいただけたようでよかったです。ライン引きは想定
以上に手間がかかりましたが、ペンキが乾ききる前から使用し
ている家族連れや子どもたちがいて、やって良かったと思え
る事業となりました。満足する一方で、足りなかったことやも
っとやれたなど思うことも多く、反省するところもありました。
今後はもっともっと多くの方々に参加してもらい、青年会議所
の運動を広げていけたらと思います。参加いただきました皆様
に感謝申し上げ、所見とさせていただきます。

◆担当副理事長：梅津壮一郎

「フラワーボランティア」と「ふるさとOMOIYARIプロ
ジェクト」を同日開催してから今年で3年目になりますが、年々
参加者が減っていることは今後の大きな課題だと思います。こ
の運動の輪がより多くの市民に広がっていくよう、県内16L
OMの事業も参考にしながら当事業を展開していければと思
います。

置賜4JC合同例会

事業名：置賜4JC合同例会

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤圭央

1. 事業概要

置賜4JC合同例会

競技は各LOM対抗で行った。

順位を設け、4チームの場合には1位・2位に賞品

参加者は全員がなるべく1回は参加すること。

ボールはソフトイーボールを使用。

基本的なルールは小学生用のルールに基づき行う。

(ルールはプログラムに大会概要としてリンクで記載)

- ・1試合6分間、休憩3分
 - ・1チーム12名(内野7名、外野3名)
 - ・内野に誰もいなくなれば時間前でも試合終了。
- 6分間で決まらなければ内野に残った人数の多いチームの勝利。
前後半で全くの同点だった場合チームの代表者によるあっち向
いてホイ対決により決定。

審判はチームから2名選出。自チーム以外の試合の審判をする。

2面同時に行い、全チーム総当たりで順位を決定。

成績発表(懇親会時に行った)

表彰は上記の通りとし、商品は長井青年会議所で準備。

2. 実施日時：10月15日

3. 実施場所・会場

長井市置賜生涯学習プラザ

4. 事業対象者

置賜4LOM全会員

5. 参加者募集方法

各LOMに案内文を配信し、LOMごとに集約

6. 決算総額：¥20,000

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(6名)、その他メンバー：(30名)

◆外部 置賜3JC

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕長井青年会議所

〔共催〕米沢青年会議所

南陽青年会議所

高島青年会議所

9. 実施プログラム

予定	実施	
18:00	18:00	登録開始 (長井メンバーは45分集合、事務局は30分集合)
18:30	18:30	開会宣言
18:31	18:31	国歌斉唱並びにJCソング斉唱
18:35	18:34	JCIクリード唱和
18:36	18:35	JCIMission並びにVision唱和
18:37	18:36	JC宣言文朗読並びに綱領唱和
18:38	18:37	東北JC宣言文唱和
18:39	18:38	開催地理事長挨拶
18:42	18:41	趣旨説明、諸注意
18:45	18:43	ラジオ体操
18:50	18:50	競技開始
		第1試合 18:50~18:56
		第2試合 19:00~19:06
		第3試合 19:10~19:16
19:17	19:18	片付け
19:25	19:28	監事講評
19:28	19:30	閉会宣言
19:30	19:35	完全撤収

10. 引き継ぎ事項

- ・参加者の確保に各LOMが力を入れる必要があると感じた。
- ・親睦を深めることに特化した内容は好評であった。
- ・予算に関しては各LOMの予算組があるので計上した額で決算に至ることが望ましい。

11. 各担当者所見

◆事務局長：齋藤圭央

皆様のご協力により、当日は大きな問題もなく無事に事業を終えることができましたことに感謝申し上げます。予想以上に盛り上がり、楽しんでいただくことができたのではないかと感じております。懇親会でも多くの方々との親睦を深めることができ、笑顔溢れる場を作ることができました。今回担当させていただき、第4エリアの「仲の良さ」をより強く感じることができました。他のエリアにはない繋がりを今後も継続していければと思います。

◆専務理事

置賜4JC合同例会に参加ご協力いただきまして誠にありがとうございました。例会内容がドッチボールという事で、若干怪我の心配をしておりましたが、怪我やトラブルなどもなく皆さん笑顔でプレーしている姿を見て安心しました。今回の例会を通して、置賜4JCのメンバーの親睦をさらに深めることができた非常に有意義な時間であったと感じております。ぜひ、来年以降もこの4JC合同例会を継続して頂ければと思います。

次年度理事長候補者所信発表例会

事業名：次年度理事長候補者所信発表例会

担当委員会名：総務局

委員長氏名：玉橋 恵子

1. 事業概要：次年度理事長候補者の所信発表を行った。
2. 実施日時：平成28年9月16日（金）
19時～21時
3. 実施場所・会場：白鷹町文化交流センターあゆむ
4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー
5. 参加者募集方法：電子メール、LINE
6. 決算総額：2,500円
7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(3名)、その他メンバー：(13名)

◆外部 なし

8. 外部協力団体及び協力種別
〔主催〕 公益社団法人 長井青年会議所

9. 実施プログラム

【計画】	【実施】	
19:00	19:00	例会セレモニー ※担当:事務局
19:10	19:10	新入会員セミナー ※担当:未来創造会議
20:10	20:10	休憩
20:15	20:15	開会、趣旨説明
20:20	20:20	次年度理事長候補者所信発表
21:10	21:00	例会セレモニー(監事講評)、終了後アンケート記載

10. 引き継ぎ事項

- ・開催日をメンバーの参加しやすい日に設定することや声掛けを徹底する等、参加率を向上させる工夫が必要。

11. 各担当者所見

◆総務局長 玉橋 恵子

本例会は次年度理事長候補者が所信発表という場で自らの想いを伝え、メンバーは理事長が目指す方向性や考えを理解する大切な事業だと思います。メンバーそれぞれに想いがある中で、長井JCが目指すものを再確認し、気持ちをひとつにして進んでいくことを願います。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

◆専務理事 梅津 壮一郎

今回の例会を通して、2017年度の運動の方向性を参加者の皆様に理解して頂けたのではないかと思います。大事な例会ですが、参加者が約半数というのは、残念な結果でした。メンバーが一致団結して2017年度の運動をスタートできるよう、残り2ヶ月、様々な場面で理事長予定者の想いを発信して頂き、メンバー全員で共有できることを切に願います。

卒業式

事業名：11月例会 卒業式

担当委員会名：総務局

委員長氏名：玉橋 恵子

1. 事業概要：卒業者のこれまでの活動の功績を讃え、感謝の意を表し、記念品の贈呈と今後の更なる飛躍を祈念した。

2. 実施日時：平成28年11月18日（金）

19時～22時

3. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

4. 事業対象者：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：電子メール、LINE

6. 決算総額：33,352円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(6名)、その他メンバー：(24名)

◆外部 なし

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人 長井青年会議所

9. 実施プログラム

【計画】 【実施】

19:00 19:00 例会セレモニー

19:10 19:10 卒業式開始

(1) 開式の辞

(2) 卒業生紹介

(3) 卒業証書授与

(4) 理事長式辞

(5) 送辞 樋口和哉君、影山孝史君(各5分)、花束贈呈

(6) 答辞 遠藤浩樹君、大竹貴之君(各10分)

(7) 閉式の辞

20:00 20:15 例会セレモニー(監事講評)、卒業式終了

20:10 20:25 卒業生を祝う会 開始

21:40 22:00 卒業生を祝う会 終了

10. 引き継ぎ事項

・開催時期は12月を検討すること。全事業終了後の最後の事業であることが最良と感じる。

・開催日時は早い段階で卒業生に確認し、メンバーが集まりやすい日程に設定すること。

・式典を厳粛な形とするか、気楽な雰囲気とするかは卒業生の希望を聞いて検討すること。

・卒業生の答辞は10分では足りなかったため、ひとり15分は見方が良い。

・卒業記念品の注文は、校正から発送までに約1カ月かかるため、早めに行うこと。

・来年度の卒業生から、OBの方々にも招待してほしいとの要望があった。

11. 各担当者所見

◆総務局長 玉橋 恵子

まずは本年度卒業を迎えられた遠藤浩樹さん、大竹貴之さんに改めてお祝いを申し上げます。在籍期間が長かったお2人の思い出に残る門出になるよう、厳粛な式典とメンバーの感謝を伝える祝賀会の設営を目指しました。卒業生から喜んでいただいたことが何より嬉しく、準備段階からご協力いただいた方々や当日参加くださった皆様に深く感謝申し上げます。

卒業を迎えられたお2人の今後益々のご活躍を祈念し、担当所見といたします。

◆専務理事 梅津 壮一郎

当日は卒業式に多くのメンバーの皆様に出席いただきまして感謝申し上げます。卒業生のこれまでの様々な経験をもとにしたスピーチには心に響くものがあり、私たち現役メンバーの今後の活動の糧になるのではないかと思います。局長所見にもあるように卒業生に喜んで頂けたのは、設営した私たちにとって何よりも嬉しく思います。

最後に卒業生御二人の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

広報誌あゆみ

事業名：広報誌「あゆみ」

担当委員会名：総務局

委員長氏名：玉橋 恵子

1. 事業概要：広報誌「あゆみ」の発行。長井青年会議所の活動を地域の方々に知っていただき、理解を深めていただけるよう、活動の目的や事業内容を見やすく興味を持っていただけるような紙面とした。

2. 実施日時：平成28年12月18日（日）発行

3. 実施場所・会場：西置賜地区内 新聞折込

4. 事業対象者：西置賜地区内に居住する方

5. 参加者募集方法：なし

6. 決算総額：191,910円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(24名)

◆外部 なし

8. 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕 公益社団法人 長井青年会議所

〔協力〕 長井市

9. 実施プログラム

広報誌「あゆみ」発行 15,300部

西置賜地区全戸配付

山形新聞・読売新聞（※読売は長井のみ）に折込み

10. 引き継ぎ事項

・発行までのスケジュール管理をしっかりとし、事業紹介の記事原稿は提出期限を厳守いただくよう各委員会・会議体へ依頼する。

・デザイン担当の方とは常に綿密な打合せをしていくことが良い紙面制作に繋がると感じる。

・ホームページ、facebook で感想を募集しても集まらないため、検証材料にするのは難しい。

11. 各担当者所見

◆総務局長 玉橋 恵子

今年度広報誌を担当することになってから、文面や構成について悩みながら準備を進めてきました。11月の理事会では審議取下げとしてしまい、メンバーの皆様には臨時理事会の開催等ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。しかし、結果、自分が納得できるものを発行することができて本当に嬉しく思います。

広報誌発行にあたり協力いただいた方々やメンバーの皆様、何よりデザインを担当いただいた船山さんに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

◆専務理事 梅津 壮一郎

今年度の「広報誌あゆみ」に関しては、玉橋局長のアイディアで、表面の1面は内容市長と理事長の対談にしました。近年の広報誌は、理事長挨拶・事業報告という形式が何年か続いていたので、対談というのは非常にインパクトがあり、また例年とちょっとデザインも変えた事もあり、ご覧になった方々には概ね好評でした。広く地域の方々に長井JCの活動を発信できたのではないかと思います。寄稿していただきましたメンバーの方々、紙面デザインに尽力頂いた船山委員長、そして、市長・理事長対談を実現するにあたって市の担当者との様々な調整していただいた玉橋局長、大変ありがとうございました。

ホームページ運営

事業名：ホームページ運営

担当委員会名：総務局

委員長氏名：玉橋 恵子

1. 事業概要：ホームページ及び Facebook ページ閲覧者への正確な情報の発信を、各委員会と連携し運営した。2015年度のページをベースとし改良を加え、以下の修正を行った。

①他団体とのリンクをバナーでつけた。

②ホームページ更新方法、Facebook の活用、個人情報の取り扱い・顔写真等の配慮に関するマニュアルについて理事と各委員会担当者を対象に講習会を行った。

③不適正な個人情報の使用が無いよう管理した。

2. 実施日時：通年

3. 実施場所・会場

4. 事業対象者：講習会：長井青年会議所メンバー

5. 参加者募集方法：講習会：メール配信

6. 決算総額：0円

7. 参加員数

◆内部

担当委員会：(7名)、その他メンバー：(24名)

◆外部 なし

8. 外部協力団体及び協力種別

9. 実施プログラム

1月20日 各委員会の担当者対象にホームページ、Facebookに関する講習会を実施。
出席者：井上真君、吉川明紀君、大竹副理事長、山口副委員長
井上理事長、梅津専務理事、齋藤事務局長、大泉事務局補佐、玉橋

1月総会後 2016年度HPページ開設（トップページ変更、理事長所信・組織図・事業報告書・事業計画書）その後、原則として事業開催の3週間前までに案内を掲載し、事業終了後の1週間以内に報告

10. 引き継ぎ事項

・各委員会と連携し、委員会担当者中心の情報発信に取り組むこと。

・Google Analytics (HP分析ツール)の使い方を覚えることで、HP運営にやりがいや更新時の数字の把握ができる。

・ホームページのページ日別アクセス数ができるようになるようにできいか、委託者へ確認すること

11. 各担当者所見

◆総務局長 玉橋 恵子

ホームページと Facebook 運営は、長井JCの活動を地域に発信していくために非常に重要なものと思います。しかし、各委員会では事業準備に追われ、発信まで手が回らないというのが実

情と思います。組織全体の取り組みとして情報発信をしていくことは、今後の課題であると感じました。この部分については次年度にも引き継いでいただき、情報発信力の強化に取り組んでいただきたいと思います。最後に、ご協力いただきましたメンバーの皆様一年間ありがとうございました。

◆専務理事 梅津 壮一郎

1年間を通してホームページの運営・Facebook 等による情報発信にご協力いただきまして、ありがとうございました。長井青年会議所の事業や活動に興味をもった方はまずホームページを見るとと思いますので、新鮮な情報を発信し、魅力的なホームページを作ることは、不可欠だと思います。例年、HP運営担当者や各委員会担当者任せにすると、どうしても情報更新が止まってしまうがちなので、人任せにせず、理事を中心にしっかりとチェックしていく必要があるのではないかと思います。

【出 向 報 告】

日本青年会議所 憲法意思確立委員会
委員 遠藤 浩樹

出向報告

最後の年で日本青年会議所にも出向の機会をいただき、井上理事長初めメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。

大きな事業は3つです、担当した国民投票シミュレーション、そして各地域での事業。お陰様で、当初の目標には届きませんでした。12万票もの投票を頂きました。理事長サミット。これは理事長と日本JC役員限定での開催でしたが、たいへん高評価を頂きました。これも一重に委員会メンバーが一丸となり、本番で強さを発揮した結果だと思っております。内容もしっかり、そしてCliccaを使った参加型システムは、その後、全国のJCで使用されていることも鑑みれば、非常に先進的、かつ貢献度の高い事業であります。

そして、サマーコンファレンスでは、民度向上委員会の皆様と共に、松田副委員長が中心となり、春香クリスティーン、COJの鎌田華乃子氏をお招きして、面白いフォーラムを開催することができました。トランプ氏が当選した大統領選挙の折にも、COの件は紹介されておりましたので、非常に先進性ある事例であったと思います。サマコンの直前に行われた参議院議員選挙の結果、いわゆる改憲勢力が衆参両院で戦後初となる憲法改正発議に必要な議員数の2/3を占めたことで、明らかにこの国のムードは一変しました。

国家グループの運動・事業は単年度で結果を残せることは大変少ないのも事実です。ですが、毎年憲法に携わったメンバーが少しずつ増えることで、少しでも国民一人ひとりが憲法に向き合う機会が増え、そしてその中心にJCメンバーがいる、そのような状態を目指してきたとも言えます。その意思が国家の意志となり、国の未来をしっかりと定め、国民みんなが同じ方向を向いたときこそ、この国の真の力は発揮されると信じております。

「日本を変えるのはオレたちだ!!」の気概をもって後輩には「JC」を取り組んで欲しいです。1cm、1mmでも地域がちょっとでも変われば、私たちの起こした行動したことは決して無駄ではないと思います。一年間ありがとうございました。

東北地区協議会 ゼミナール委員会
委員 小関 幸一

出向報告

この度、東北ゼミナール委員会に出向させて頂き、理事長はじめメンバーの皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。本当に貴重な一年間を経験させて頂き、県内各地からの出向メンバー、東北各地からの県外メンバーとの交流は、私にとって広い視野で考える機会を頂けたと感じております。同世代の志高く気概を持ったメンバーと出会い、色々な方と交流させて頂き、あつという間に閉校式を迎え、東北青年フォーラムでのグループ発表や私なりの今後の課題や考え方も示すことが出来ました。大泉会長はじめ、ゼミナール委員会役員の皆様、ゼミ生の皆様本当にありがとうございました。

山形ブロック協議会
監査担当役員 板垣 洋一

出向報告

私の J C 生活の中に於いて、ブロック協議会の役員という立場で出向する事は今回が初めての経験でありました。予定者の段階から 1 年数か月、無事にその担いを全う出来ました事に安堵と共に大きな充実感に満たされております。このような貴重な経験をする機会を作って頂いた井上理事長をはじめ LOM のメンバーに感謝致しております。有り難うございました。

ブロック協議会は県内各 LOM に寄り添い、LOM 運営や事業の支援を行うと同時に会議や組織運営の模範となるよう、厳しい規律の中で役員と出向者が自分の役割に全力を注ぐ場であります。私もその場に参加していく中で、新たな気付きや学びを沢山得ることが出来ました。今後の限られた J C 生活の中で、今年度得た様々な経験を出来る限り長井 J C に還元し、LOM の更なる発展に活かしていけたらと思っております。出向するという事は自身の殻を破ってさらなる成長を促してくれる機会であり、さらに掛け替えの無い仲間が出来る貴重な場でもあります。是非一人でも多くのメンバーが出向を通して成長し、未来の長井 J C を牽引するリーダーとなってくれる事を期待しております。

理事長、専務をはじめ事務局その他多くのメンバーに面倒になりました。本当に有り難うございました。

山形ブロック協議会 ユニバーサルデザイン確立委員会
委員 影山 孝史

出向報告

「誰もが住みよいユニバーサル社会を学ぶセミナー」や、「ブロック大会かみのやま大会」では社会福祉協議会と JC、JC と各協力団体とのつながりを明確に一般の方々に周知することができました。私たちが行動することで、障害をもつ人と同じ考えを共有することができ、時間を共有し彼らと一緒に行動することで山形から新たなユニバーサルデザインの流れを日本中に発信することができる可能性を感じました。今後の課題としては、ユニバーサルデザイン確立委員会で学んだことを次年度に受け継がせていただきまして、今後の事業に活かしたいと思います。一年間ありがとうございました。

山形ブロック協議会 当事者意識醸成委員会
副委員長 遠藤 浩樹

出向報告

最後の年でブロック出向の機会をいただき、井上理事長初めメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。12 年度に当時のブロックの委員長をした高橋洋之君より、遠藤さん最後だからうちの委員会に来ない？の一言で出向しました。≪当委員会は政策系の委員会として政治や憲法に関わる事業構築をし、やまがた全体の当事者意識を醸成する運動を行ってききました。

4 月憲法事業や公開討論会については、これまでとは違った切り口の事業が実施できました。昨年までは講演会という形でしたが。今年は羽黒山の石段を使い、クイズ形式で一般の観光客も巻き込み 300 人の参加者でした。山頂では憲法の前文について投票する場所も設けました。6 月の参議院選挙公開討論会では、宣伝する時間が限られたこと。政治を扱う

ので参加者を募りにくかったことがあります。100名程度の参加者でしたが半数がJCメンバーでありました。7月にはブロック大会の上山で憲法についてクイズを行いました。当日はとても暑かったですが50名の参加者で事業を行うことができました。中学生・高校生や外人の方にも参加していただきました。「自分たちが当事者として未来を考え、行動する」必要性は今後より強くなっていくでしょうし、来年度以降の運動に関心をもって、少しでも関わっていただければと思います。私も卒業する身ではありますが、JCを離れても選挙・政治には有権者の一人として関心を持ち続けたいと思います。最後に、1年間という長いようで短い期間でしたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会 委員 齋藤 憲幸

出向報告

本年はブロック大会運営委員会へ委員として出向させていただきました。ブロック大会というとても大きな事業に関われたことは本当に貴重な経験でした。山形ブロック協議会最大の運動発信の場となるブロック大会のたからいちを担当する部会に所属し、ステージ発信でシナリオ作成や進行サポートを担当させていただきました。担当以外でも2014年度のブロック大会長井大会での経験を思い出しながら意見等もさせていただきました。大会当日はアクシデント等もありましたが臨機応変な対応で大きな問題もなく大成功を収められたと思います。参加いただいたメンバーの皆様にも改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に出向という貴重な機会を与えていただいた井上理事長をはじめ長井青年会議所のメンバーへ感謝申し上げるとともに出向で経験したことを今後のLOMへ還元していくことをお誓い申し上げ出向報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会 委員 齋藤 繁喜

出向報告

今年度、山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会へ委員として出向させていただきました。出向を通して、OMOIYARIプロジェクトに関わらせていただくのは3日目なのですが、このOMOIYARIプロジェクトも本年度9回目の開催となりますので、2017年の10年目の節目の年度へと繋げる大切な一年でありました。県内一斉の環境美化運動も各地青年会議所の積極的な運動の推進により、各々の地域にしっかりと根付いた事業へと成長しておりますし、地域企業及び住民の皆様と共に運動を展開できることも県内17青年会議所と山形ブロック協議会のスケールメリットを活かした素晴らしい事業であるとあらためて感じた次第です。LOMから最も身近な山形ブロック協議会への出向は、出向者個人にとってもLOMにとっても大きな成長が期待できる機会です。ぜひ、一人でも多くのメンバーの皆様に出向を経験していただき、県内各地に仲間と友情を育み、数々の修練を通して素晴らしいJCライフをお送りください。今回の出向の機会をくださいました井上理事長をはじめとするメンバーの皆様にご心より感謝と御礼を申し上げ、私の所感とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

山形ブロック協議会 組織進化実践会議
議員 小笠原 信吾

出向報告

当青年会議所入会後、出向の機会を3年続けていただきました。そもそも、会議体・委員会の運用・雰囲気作りのためのマニュアルなどは存在ありません。これらはひとえに担当副会長・委員長の個性によるため、出向するたびに出向先の異なるやり方を学ぶことができます。また、出向するたびに新鮮な気持ちを抱くことができます。

本年度の出向先は組織深化実践会議でした。同会議においては、特に委員長に相当する役職である副議長の個性が前面に出ている会議体でした。会議体内の会議にて用いられる資料はどれもしっかりと形を守ったものであり、また、会議の進行も順序を崩さないものでした。そのため、会議体の雰囲気は比較的しっかりしたものとなって緊張感が保たれていたように思います。会議中に熱い議論が交わされることもありましたが、これも会議体の雰囲気が比較的しっかりしていたからだとも思います。

会議体に与えられたタスクの内容は、会員拡大・情報発信・アニュアルレポート・ブロック協議会50周年の準備と、多岐にわたっておりました。これらは、まちづくりそのものに関わるものではなく、まちづくりとの関係では間接的な事業と位置づけられます。私のこれまでの経歴からは得られなかったものばかりですので、その意味においても、同会議に出向したことは幸いでした。

このような機会を与えられたことに感謝したいと思います。

山形ブロック協議会 アカデミー委員会
委員 小林 和正

出向報告

私が長井青年会議所に入会し正会員になってわずか数か月。JCのことなど何もわからないまま、山形ブロック協議会アカデミー委員会への出向となりました。当時、井上理事長から出向の依頼を受けたとき、「出向は長井JCの顔になる」との言葉を頂きました。私の行動で長井JC全体が評価されるのだと感じ、身が引き締まると同時に可能な限り出席だけはしようと心に決めたことが印象に残っています。

プログラムに参加していくに従って、JCではどんな考えを持ち、どんな活動をしていくのかが何となく見えてきました。また様々なプログラムを通じ、新たな体験と問題提起の機会を頂き、自己の成長に大いに役立ったと感じます。そして何よりアカデミー委員会に参加する他のLOMメンバーの方々との交流できたことが何よりうれしいことでした。西方委員長はじめスタッフの方々、そして県内各所から集まった委員の皆様、それぞれ個性あふれる魅力的な方で、様々な意見を交換し協働することで多くの刺激を頂きました。

私は閉講式の際、優秀賞を頂きましたが私自身の力だとは思っておりません。快く送り出して頂いた井上理事長はじめ長井JCのメンバー、アカデミー委員会スタッフ及びメンバー、そして同じくアカデミー委員会に出向していた大泉君、アカデミー委員会に関わったすべての人に取らせて頂いたものです。この度頂いた多くの機会と出会いに感謝し、今後も出会うであろう人々、そして地域のために甚だ微力ではありますが何かを与えられる存在になれるよう精進してまいります。この度アカデミー委員会に参加できたこと、心からよかったと言えます。本当にありがとうございました。

出向報告

2015年度の長井青年会議所入会后、初めての山形ブロック協議会への出向でした。2015年の1月30日、不安と期待を織り交ぜながら出席した開講式・第1回プログラムでは、多くの県内各地の他のLOMメンバーとの出会いがありました。委員紹介では、長井JCのメンバーの方々に、後方から温かく見守って頂いていたのを覚えています。また、第1回プログラムでの小畑宏介先輩の講演では、JCIをする目的が、1人で運動を起こせるような人間になるということにあるのだ、というお言葉を頂き、心に残っています。第4回プログラムへ向けての第4ブロックの各LOMメンバーとの第1回～第4回までのエリア会議では、置賜の良さを引き出せるよう集まったメンバーで協力する中で、友好が生まれ、楽しくそして充実した時間を過ごすことが出来ました。第3回プログラムでは、「冒険心と起業家精神を発揮できる人材の育成」に向け、天童市内の調査を仲間と共に行うことで、様々な発見があり、普段とは異なる視点でものを見ることができたと共に、様々な気付きを得ることが出来ました。ブロック大会及び第4回プログラムでは残念ながらCRC-1グランプリ優勝!!という訳にはいきませんでした。仲間と共に一つの事をやり遂げたということに、大きな価値を見出す事が出来ました。ブロック大会の最後に、間近で見た花火がとても綺麗でとても良い思い出になりました。閉校式では、修了証書を頂き、決意表明をする機会がありました。様々なメンバーとの出会いを経て、自分がこうなりたい!!という理想像を発表することができ、とても良い思い出になりました。

最後に、全ての会に出席することは叶わず残念ではありましたが、長井JCから出向させて下さった井上理事長、そしてLOMのメンバーに感謝すると共に、委員会の役員の方々にも大変お世話になりました。アカデミー委員会で得たものを今後のJC活動、仕事等に活かしていけるように、これから精一杯頑張りたいと思います。

2016年度 貸借対照表(案)

2016年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	453,731	487,010	-33,279
未収金	62,000	59,000	3,000
未収会費	468,000	378,000	90,000
流動資産合計	983,731	924,010	59,721
2.固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	864,958	864,958	0
特別積立金	87,414	87,414	0
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	1,452,375	1,452,375	0
固定資産合計	1,452,375	1,452,375	0
資産合計	2,436,106	2,376,385	59,721
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	2,436,106	2,376,735	59,371
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,436,106	2,376,735	59,371
負債及び正味財産合計	2,436,106	2,376,735	59,371

2016年度 貸借対照表内訳表(案)

2016年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	453,731	0	0		453,731
未収金	0	0	62,000		62,000
未収会費	376,200	0	91,800		468,000
流動資産合計	829,931	0	153,800		983,731
2.固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	864,958	0	0		864,958
特別積立金	87,414	0	0		87,414
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
固定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
資産合計	2,282,306	0	153,800		2,436,106
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2.固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2.一般正味財産	1,738,575	0	697,531		2,436,106
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	1,738,575	0	697,531		2,436,106
負債及び正味財産合計	1,738,575	0	697,531		2,436,106

公益社団法人長井青年会議所
2016年度正味財産増減計算書 決算(案)

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	20,000	20,000	0	
受取入会金	20,000	20,000	0	¥10,000×2名(新規会員数)
受取会費	2,705,000	2,982,500	△ 277,500	
正会員会費	2,625,000	2,902,500	△ 277,500	¥90,000×26名(年初会員数)+¥67500×3名(市役所メンバー9ヶ月分)+年度内入会者分¥67,500×1名、¥15,000×1名(月割による)
特別会員会費	40,000	40,000	0	
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	175,000	151,000	24,000	
登録料収益	175,000	71,000	104,000	人財育成事業登録料¥150,000:¥3,000×50枚 JC杯中学野球大会(春季)登録料¥25,000:¥5,000×5枚
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
雑収益	0	80,000	△ 80,000	
受取補助金等	991,000	1,610,000	△ 619,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	371,000	1,500,000	△ 1,129,000	ながい寺子屋 補助金: ¥191,000 講演会 補助金: ¥180,000
地方公共団体助成金	620,000	70,000	550,000	夢灯補助金: ¥600,000 フラワーボランティア謝礼金: ¥20,000
民間助成金	0	40,000	△ 40,000	
受取負担金	15,000	0	15,000	
受取負担金	15,000	0	15,000	置賜4JC合同例会登録料 ¥5,000×3LOM
受取寄付金	1,074,352	1,134,301	△ 59,949	
受取寄付金	1,074,352	1,134,301	△ 59,949	夢灯企業協賛金¥1,067,000: ¥3,000×217口、JCカード還元金¥7,352
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	174	584	△ 410	
受取利息収益	174	584	△ 410	
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	4,980,526	5,898,385	△ 917,859	
(2) 経常費用				
事業費	4,014,534	5,041,867	△ 1,027,333	
地域開発事業	2,179,076	3,273,019	△ 1,093,943	
青少年育成事業	1,013,176	483,831	529,345	
公益事業共通	284,955	286,020	△ 1,065	
内部例会及び会員交流系事業	149,347	401,051	△ 251,704	
広報系事業	279,272	263,762	15,510	
その他組織運営に関する事業	108,708	334,184	△ 225,476	
収益事業等共通	0	0	0	
科 目	2016年度 12月補正予算	2016年度 当初予算	増 減	備考
管理費	906,621	876,218	30,403	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	35,592	18,464	17,128	吊電・花代: ¥35,592
会議費	5,400	36,180	△ 30,780	総会会場使用料: ¥5,400
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	5,257	6,332	△ 1,075	送料、切手代、ゆうメール: ¥5,257
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	

消耗品費	55,059	25,870	29,189	スローガン看板:¥18,000、会員ネームプレート・バッジ、封筒他
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	147,793	176,466	△ 28,673	手帳:¥118,800 年賀状:¥28,993
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	20,000	0	JCルームの賃借料 ¥240,000: ¥20,000×12ヶ月
保険料	9,000	0	9,000	ボランティア活動保険:¥300×30名
委託費	135,108	135,108	0	長井商工会議所事務員¥432,000:1ヶ月¥36,000 ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥110,160 合計: ¥542,160
租税公課	600	1,200	△ 600	登記簿謄本代:¥600
支払負担金	348,895	370,200	△ 21,305	JCI負担金¥42,625: ¥1,375×31名(年初会員数) 日本JC負担金¥185,000: ¥30,000(基本額)+¥5,000×31名(年初会員数) 国際協力資金¥56,575:¥1,825×31名(年初会員数) 地区協議会負担金¥61,500 ¥5,000(基本金)+¥1,500×31名(年初会員数) +¥10,000×1名(ゼミナール委員出向者数) ブロック協議会負担金¥175,000: ¥10,000(基本金)+¥5,000×31名(年初会員数) +¥5,000×2名(アカデミー委員出向者数) 日本JC出向者負担金¥20,150:¥20,150×1名 We Believe購読料¥93,000: ¥3,000×31名(年初会員数) JC支払負担金総計: ¥633,850
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	117,605	68,000	49,605	関係団体年会費、周年会議所御祝い、電報他
雑費	26,312	18,398	7,914	送金手数料・送料ほか
経常費用計	4,921,155	5,918,085	△ 996,930	
評価損益等調整前当期経常増減額	59,371	△ 19,700	79,071	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	59,371	△ 19,700	79,071	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	59,371	△ 19,700	79,071	
一般正味財産期首残高	2,376,735	2,396,435	△ 19,700	
一般正味財産期末残高	2,436,106	2,376,735	59,371	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
.....	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,436,106	2,376,735	59,371	

公益社団法人長井青年会議所
2016年度正味財産増減計算書(事業区分単位) 決算内訳表

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計					法人会計	内部取引控除	合 計	
	公1 地域開発事業	公2 青少年育成事業	共 通	小 計	他1 内部例会及び 会員交流系事業	他2 広報系事業	他3 その他組織運営 に関する事業	共 通	小 計				
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
受取入会金	0	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
受取会費	342,076	617,176	264,955	1,224,207	134,347	279,272	108,708	0	522,327	958,466	0	2,705,000	
正会員会費	342,076	617,176	224,955	1,184,207	134,347	279,272	108,708	0	522,327	918,466	0	2,625,000	
特別会員会費	0	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	40,000	
賛助会員会費	0	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	40,000	
その他会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	150,000	25,000	0	175,000	0	0	0	0	0	0	0	175,000	
登録料収益	150,000	25,000	0	175,000	0	0	0	0	0	0	0	175,000	
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等	620,000	371,000	0	991,000	0	0	0	0	0	0	0	991,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
民間補助金	0	371,000	0	371,000	0	0	0	0	0	0	0	371,000	
地方公共団体助成金	620,000	0	0	620,000	0	0	0	0	0	0	0	620,000	
民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	0	15,000	0	0	0	15,000	0	0	15,000	
受取負担金	0	0	0	0	15,000	0	0	0	15,000	0	0	15,000	
受取寄付金	1,067,000	0	0	1,067,000	0	0	0	0	0	7,352	0	1,074,352	
受取寄付金	1,067,000	0	0	1,067,000	0	0	0	0	0	7,352	0	1,074,352	
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174	0	174	
受取利息収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174	0	174	
その他の雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	2,179,076	1,013,176	284,955	3,477,207	149,347	279,272	108,708	0	537,327	965,992	0	4,980,526	
(2) 経常費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業費	2,179,076	1,013,176	284,955	3,477,207	149,347	279,272	108,708	0	537,327	0	0	4,014,534	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	25,380	0	0	0	25,380	0	0	25,380	
会議費	0	0	0	0	1,830	0	0	0	1,830	0	0	1,830	
旅費交通費	47,040	202,926	0	249,966	0	0	0	0	0	0	0	249,966	
通信運搬費	82	8,996	0	9,078	0	14,374	0	0	14,374	0	0	23,452	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
消耗品費	705,370	177,370	0	882,740	3,248	930	0	0	4,178	0	0	886,918	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	568,044	176,481	0	744,525	8,125	80,240	33,344	0	121,709	0	0	866,234	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

賃借料	151,880	86,060	0	237,940	27,540	20,000	26,620	0	74,160	0	312,100
保険料	1,960	2,200	0	4,160	4,000	0	0	0	4,000	0	8,160
補助金	444,754	217,274	0	662,028	0	0	0	0	0	0	662,028
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	284,955	284,955	0	0	0	0	0	0	284,955
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	199,448	119,448	0	318,896	70,740	163,728	48,708	0	283,176	0	602,072
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	60,498	22,419	0	82,917	8,484	0	36	0	8,520	0	91,437
管理費										906,621	906,621
役員報酬										0	0
給料手当										0	0
退職給付費用										0	0
福利厚生費										35,592	35,592
会議費										5,400	5,400
旅費交通費										0	0
通信運搬費										5,257	5,257
減価償却費										0	0
消耗什器備品費										0	0
消耗品費										55,059	55,059
修繕費										0	0
印刷製本費										147,793	147,793
燃料費										0	0
光熱水料費										0	0
賃借料										20,000	20,000
保険料										9,000	9,000
委託費										135,108	135,108
租税公課										600	600
支払負担金										348,895	348,895
支払寄付金										0	0
支払利息										0	0
交際費										117,605	117,605
雑費										26,312	26,312
経常費用計	2,179,076	1,013,176	284,955	3,477,207	149,347	279,272	108,708	0	537,327	906,621	4,921,155
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59,371	59,371
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59,371	59,371
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59,371	59,371
一般正味財産期首残高	0	0	2,376,735	2,376,735	0	0	0	0	0	0	2,376,735
一般正味財産期末残高	0	0	2,376,735	2,376,735	0	0	0	0	0	59,371	2,436,106
II 指定正味財産増減の部											
受取寄付金	0		0	0				0	0		0
・・・	0		0	0				0	0		0
一般正味財産への振替額	0		0	0				0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0		0	0				0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	2,376,735	2,376,735	0	0	0	0	0	59,371	2,436,106

公益社団法人 長井青年会議所
2016年度財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当無し。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当無し。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当無し。

(4) 引当金の計上基準

該当無し。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当無し。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	864,958	0	0	864,958
特別積立金	87,414	0	0	87,414
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	1,452,375	0	0	1,452,375
合 計	1,452,375	0	0	1,452,375

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	864,958	0	864,958	0
特別積立金	87,414	0	87,414	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	1,452,375	0	1,452,375	0
合 計	1,452,375	0	1,452,375	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	62,000	0	62,000
未収会費	468,000	0	468,000
合 計	530,000	0	530,000

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当無し。

10. 期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
地方公共団体助成金 みんなで灯そう夢灯 事業助成金	長井市 観光協会	0	600,000	600,000	0	
フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000		
民間補助金 こどもゆめ基金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	0	191,000	191,000	0	
長井市 PTA 連合会補助金	長井市 PTA 連合会	0	50,000	50,000	0	
まちづくり 青少年育成市民会議	長井市まちづくり 青少年育成市民会議		130,000	130,000		
合 計		0	991,000	991,000	0	

1 2. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

1 4. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

1 5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

1 6. 重要な後発事象

該当無し。

1 7. その他

該当無し。

2016 年度附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

2016年度 財産目録

2016年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	0	
預金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707	運転資金として	453,644	
	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583	運転資金として	87	
	普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960	運転資金として	0	
	普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318	運転資金として	0	
未収金	菅原純一君2013年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2013年度県大会登録料未収金	62,000	
	菅原純一君2014年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2014年度県大会登録料未収金		
	菅原純一君2014年度フォーラム登録料(¥7,000)	2014年度地区大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2015年度県大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度全国大会登録料(¥10,000)	2015年度全国大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度50周年特別協賛金(¥10,000)	2015年度周年特別協賛金未収金		
	鈴木亜由美君2015年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2015年度県大会登録料未収金		
	鈴木亜由美君2015年度全国大会登録料(¥10,000)	2015年度全国大会登録料未収金		
	鈴木亜由美君2015年度50周年特別協賛金(¥10,000)	2015年度周年特別協賛金未収金		
	鈴木香澄君2016年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2016年度県大会登録料未収金		
未収会費	菅原純一君2013年度分(¥108,000)	2013年度分会費未収金	468,000	
	菅原純一君2014年度分(¥90,000)	2014年度分会費未収金		
	菅原純一君2015年度分(¥90,000)	2015年度分会費未収金		
	鈴木亜由美君2015年度分(¥90,000)	2015年度分会費未収金		
	鈴木香澄君2016年度分(¥90,000)	2016年度分会費未収金		
流動資産合計			983,731	
(固定資産)				
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	864,958
	特別積立金	定期預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	87,414
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道(株)の有価証券で、 地域振興を目的とする。	500,000
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。	3
固定資産合計			1,452,375	
資産合計			2,436,106	
(流動負債)				
流動負債合計			0	
(固定負債)				
固定負債合計			0	
負債合計			0	
正味財産			2,436,106	

公益社団法人長井青年会議所
2016年度委員会別事業費収支計算書 決算

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
ひとづくり委員会				
第25回JC杯中学野球大会(春季)	公2	57,088	25,000	32,088
ながい寺子屋	公2	231,512	191,000	40,512
第25回JC杯中学野球大会(秋季)	公2	36,231	0	36,231
食育をテーマにした講演会	公2	488,897	180,000	308,897
納涼パーティー	他1	0	0	
小計		813,728	396,000	417,728

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
まちみらい委員会				
地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」	公1	1,678,944	1,667,000	11,944
みんなで防災対応力向上計画	他1	2,755	0	2,755
長井駅周辺整備事業	公1	9,008	0	9,008
公開討論会	公1	0	0	0
クリスマスパーティー	他1	0	0	0
小計		1,690,707	1,667,000	23,707

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
未来創造会議				
会員拡大運動	他3	30,000	0	30,000
人材育成事業	公1	250,000	150,000	100,000
新入会員の指導・育成	他3	10,000	0	10,000
小計		290,000	150,000	140,000

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	18,654	0	18,654
ふるさとOMOIYARIプロジェクト	公1	41,676	20,000	21,676
置賜4JC合同例会	他1	20,000	15,000	5,000
ブロック会長公式訪問	他1	0	0	0
小計		80,330	35,000	45,330

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
総務局				
次年度理事長予定者所信発表例会	他1	2,500	0	2,500
卒業式	他1	33,352	0	33,352
ホームページ運営	他2	0	0	0
広報誌「あゆみ」	他2	191,910	0	191,910
小計		227,762	0	227,762

合計	67	3,102,527	2,248,000	854,527
----	----	-----------	-----------	---------

※事業区分について、公1＝地域開発事業、公2＝青少年育成事業、他1＝内部例会及び会員交流系事業、他2＝広報系事業、他3＝その他組織運営に関する事業

備 品 目 録

[2016年12月31日現在]

1、木制書（89年度卒業記念寄贈）	1台
2、演台（90年度卒業記念寄贈）	1台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1台
4、ネームプレートキャリーバック	1台
5、スチール書庫	3台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1額
7、ゴング（米沢J C寄贈）	1式
8、野球ユニフォーム	10着
9、J C法被	26着
10、J C綱領版（新潟J C寄贈）	1式
11、腕章	19本
12、CD（国家、J Cソング他）	1枚
13、J Cジャンパー	25着
14、入会認定書	1額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1式
16、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1張
17、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1台
18、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1枚
19、プレジデンシャルリース（98年度卒業記念寄贈）	1式
20、国旗、J C旗（99年度卒業記念寄贈）	1式
21、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1台
22、P Cカード	1枚
23、I Cレコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1台
24、プレジデンシャルリース J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
25、ハンマー J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1台
26、J C旗 J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
27、J Cゴング J C I マーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1式
28、デジタルビデオ	1台
29、ホワイトボード	1台
30、テント	3張
31、プロジェクター	1台
32、スクリーン	1台
33、誘導棒（米沢J C寄贈）	6本
34、拡声器（米沢J C寄贈）	1台